

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年5月15日
【発行者名】	T & Dアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤瀬 宏
【本店の所在の場所】	東京都港区海岸一丁目2番3号
【事務連絡者氏名】	富岡 秀夫
【電話番号】	03-3434-6630
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	青のライフキャンパス・ファンド（標準型） 赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	継続募集額 各ファンドにつき1,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

青のライフキャンバス・ファンド（標準型）

赤のライフキャンバス・ファンド（積極型）

以上を総称して「ライフキャンバス・ファンド」または「ファンド」ということがあります。また、各々「青のライフキャンバス・ファンド（標準型）」を「青のライフキャンバス・ファンド」、「赤のライフキャンバス・ファンド（積極型）」を「赤のライフキャンバス・ファンド」という場合もあります。

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の振替内国投資信託受益権（以下「受益権」といいます。）です。

委託者（以下「委託会社」ということがあります。）の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社であるT & Dアセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

各ファンドにつき、1,000億円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

購入申込受付日の翌営業日の基準価額 とします。

「基準価額」とは、ファンドの資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）をその時の発行済受益権総口数で除した1口当たりの純資産価額をいいます（ただし、1万口当たりに換算した価額で表示されます。）。

基準価額につきましては、販売会社（委託会社を含め、委託会社の指定する金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者および委託会社の指定する金融商品取引法第2条第11項に規定する登録金融機関をいいます。）ないしは下記にお問い合わせください。

T & Dアセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3434-5544（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

（５）【申込手数料】

2.16%（税抜2.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を、発行価格に乗じて得た額とします。

申込手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。なお、収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（６）【申込単位】

販売会社にお問い合わせください。

（７）【申込期間】

平成27年5月16日から平成28年5月13日まで

なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

申込取扱場所（販売会社）につきましては、前述の「（４）発行（売出）価格」の照会先までお問い合わせください。

（９）【払込期日】

ファンドの受益権の購入申込者は、販売会社が定める払込期日までに、申込代金（発行価格に申込口数に乗じて得た額に申込手数料（税込）を加算した額をいいます。）をお申しいただきます販売会社に支払うものとします。払込期日につきましては、販売会社にお問い合わせください。

振替受益権に係る各購入申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に委託会社の指定する口座を經由して、受託者（以下「受託会社」ということがあります。）の指定するファンド口座に払い込まれます。

（１０）【払込取扱場所】

払込取扱場所は申込取扱場所（販売会社）と同様です。お問い合わせにつきましては、前述の「（４）発行（売出）価格」の照会先をご参照ください。

（１１）【振替機関に関する事項】

ファンドの振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

（１２）【その他】

ライフキャンパス・ファンドは各ファンド間でスイッチング（乗換）が可能な場合があります。スイッチングにつきましては、販売会社にお問い合わせください。なお、取扱いを行わない販売会社もあります。また、確定拠出年金制度に基づくお申込の場合には適用されません。

スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に他のファンドを購入することをいいます。

スイッチングの際には、販売会社が定める所定の手数料等がかかります。

日本以外の地域における発行はありません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、前述の「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および前述の「（１１）振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

ファンドは、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの基本的性格

ファンドの商品分類および属性区分は以下の通りです。

ファンドが該当する商品分類および属性区分を網掛け表示しています。

<商品分類表>

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型投信 追加型投信	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産 資産複合

追加型投信

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

内外

目論見書または信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

資産複合

目論見書または信託約款において、株式・債券・不動産投信（リート）・その他資産のうち、複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

<属性区分表>

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 その他資産 (投資信託証券(資産複合(株式・債券)資産配分固定型)) 資産複合	年1回 年2回 年4回 年6回(隔月) 年12回(毎月) 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東(中東) エマージング	ファミリーファンド ファンド・オブ・ファンズ	あり なし

その他資産(投資信託証券(資産複合(株式・債券)資産配分固定型))

目論見書または信託約款において、投資信託証券を通じて、複数資産（国内株式・国内債券・外国株式・外国債券）を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいいます。

年1回

目論見書または信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。

グローバル（日本を含む）

目論見書または信託約款において、組入資産による投資収益が世界（日本を含む）の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファミリーファンド

目論見書または信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいいます。

為替ヘッジなし

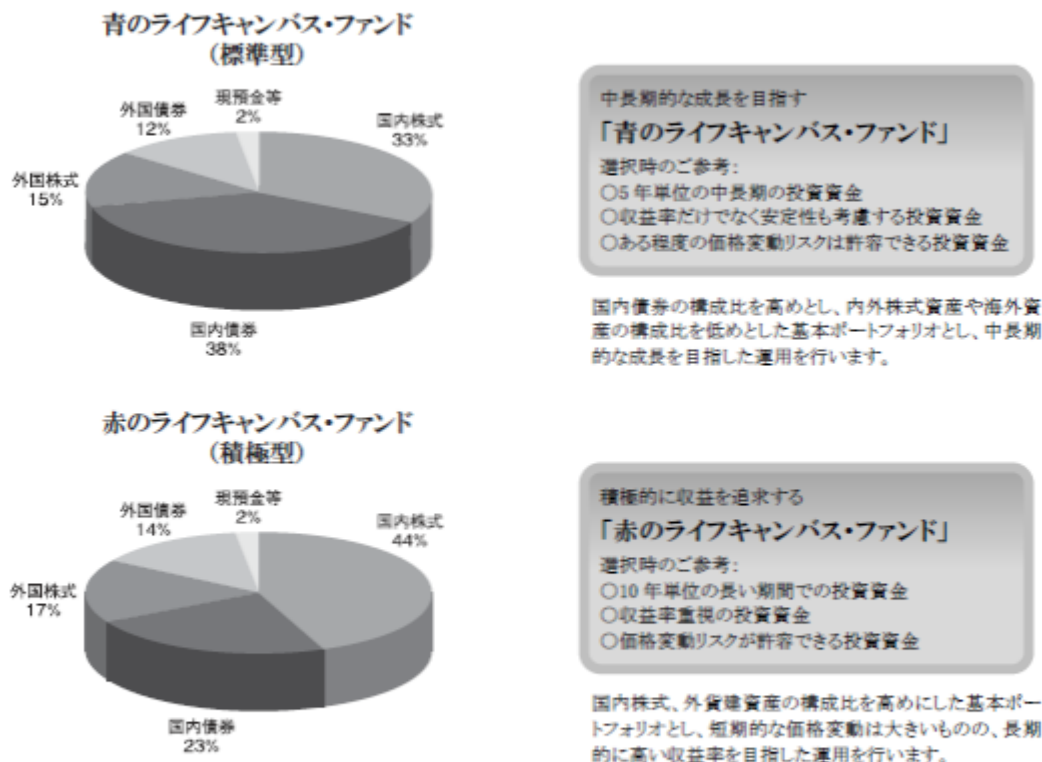
目論見書または信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載のないものをいいます。

属性区分における「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照ください。

ファンドの特色

- 1 ライフキャンパス・ファンドでは、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行います。
- 2 資産配分比率の異なる2本のファンドからお選びいただけます。



※上記グラフの比率は、各ファンドの基本ポートフォリオの資産構成比率です。

- 3 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いませんので、為替変動の影響を受けます。

信託金限度額

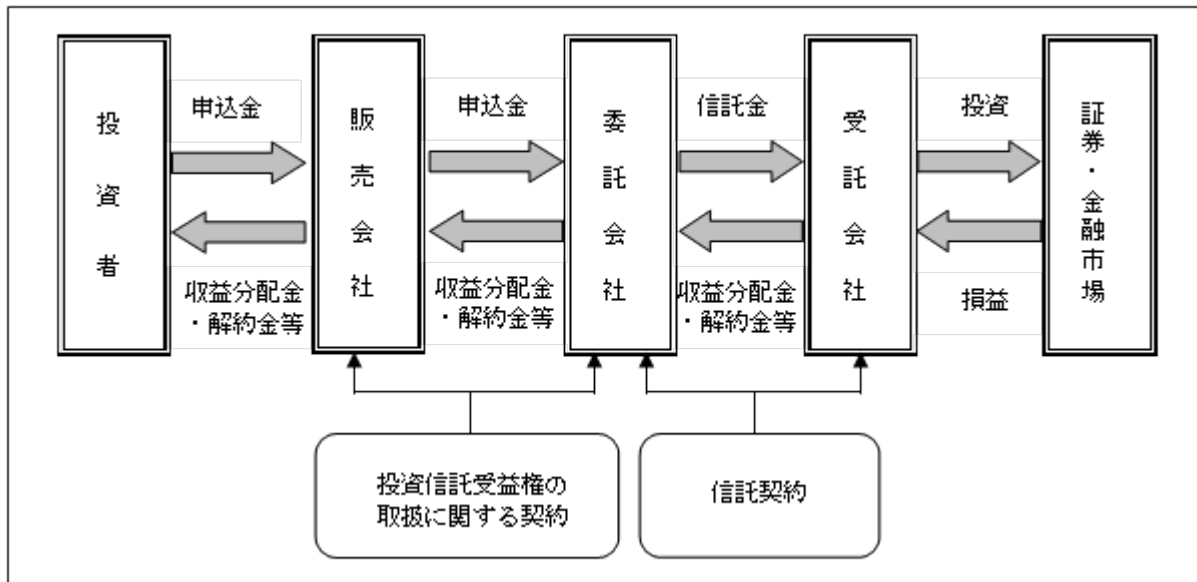
信託金の限度額は各ファンドにつき1,000億円です。ただし、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

(2) 【ファンドの沿革】

平成12年2月16日 信託契約締結、ファンドの設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

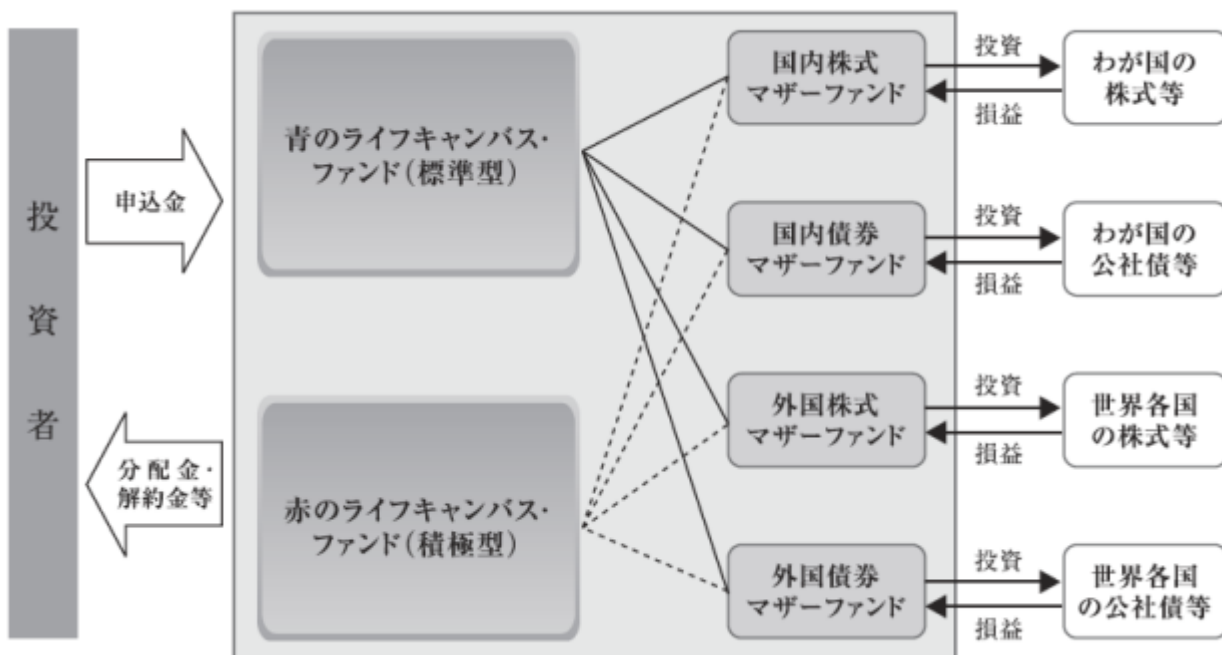
ファンドの仕組み図



ファミリーファンド方式の仕組み

ファンドは、運用効率化のためファミリーファンド方式で運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者からご投資いただいた資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



委託会社およびファンドの関係法人の名称およびファンドの運営上の役割

(委託会社が関係法人と締結している契約等の概要を含みます。)

a. 委託会社

T & Dアセットマネジメント株式会社

委託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。

- (1) 信託約款の届出
 - (2) 信託財産の運用指図
 - (3) 信託財産の計算（毎日の基準価額の計算）
 - (4) 目論見書および運用報告書の作成等
- b. 受託会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
受託会社は、信託約款（信託契約）の規定等に基づき主に次の業務を行います。
- (1) 信託財産の保管・管理・計算
 - (2) 委託会社の指図に基づく信託財産の処分等
- c. 販売会社
販売会社は、委託会社との間に締結した「投資信託受益権の取扱いに関する契約」（別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。）等に基づき、主に次の業務を行います。
- (1) 受益権の募集・販売の取扱い
 - (2) 受益権の換金（解約）申込の取扱い
 - (3) 換金代金、収益分配金および償還金の支払の取扱い
 - (4) 目論見書、運用報告書の交付等

委託会社の概況

- a. 資本金
平成27年2月末日現在 11億円
- b. 会社の沿革
- | | |
|-------------|---|
| 昭和55年12月19日 | 第一投信株式会社設立 |
| | 同年12月26日「証券投資信託法」（当時）に基づく免許取得 |
| 平成 9年12月 1日 | 社名を長期信用投信株式会社に変更 |
| 平成11年 2月25日 | 大同生命保険相互会社（現：大同生命保険株式会社）の傘下に入る |
| 平成11年 4月 1日 | 社名を大同ライフ投信株式会社に変更 |
| 平成14年 1月24日 | 投資顧問業者の登録 |
| 平成14年 6月11日 | 投資一任契約に係る業務の認可 |
| 平成14年 7月 1日 | ティ・アンド・ディ太陽大同投資顧問株式会社と合併、
ティ・アンド・ディ・アセットマネジメント株式会社に社名を変更 |
| 平成18年 8月28日 | 社名をT & Dアセットマネジメント株式会社に変更 |
| 平成19年 3月30日 | 株式会社T & Dホールディングスの直接子会社となる |
| 平成19年 9月30日 | 金融商品取引法の施行に伴い、第二種金融商品取引業、
投資助言・代理業、投資運用業の登録 |
- c. 大株主の状況

平成27年2月末日現在

株主名	住所	所有株数	所有比率
株式会社T & Dホールディングス	東京都港区海岸一丁目2番3号	1,082,500株	100%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

基本方針

ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券への分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドは、下記の各マザーファンドを主要投資対象とします。

国内株式 マザーファンド

わが国の金融商品取引所に上場の株式を主たる投資対象とし、ボトムアップ・アプローチ^{※1}により、アクティブ運用を行います。

(ベンチマーク^{※2}: TOPIX (東証株価指数))

TOPIX (東証株価指数)とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

国内債券 マザーファンド

わが国の公社債を投資対象とし、主としてデュレーション・マネジメント^{※3}により、アクティブ運用を行います。

(ベンチマーク: NOMURA-BPI総合)

NOMURA-BPI総合は、日本国内で発行される公募債券流通市場全体の動向を的確に表すために野村証券株式会社が開発・公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

外国株式 マザーファンド

MSCI-KOKUSAIインデックスの構成国の上場株式等を投資対象とし、機動的な国別配分の変更などによるアクティブ運用を行います。

(ベンチマーク: MSCI-KOKUSAIインデックス(除く日本、円ベース))

MSCI-KOKUSAIインデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

外国債券 マザーファンド

シティ世界国債インデックス構成国の国債を投資対象とし、機動的な国別配分の変更、デュレーション・マネジメントなどによるアクティブ運用を行います。

(ベンチマーク: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))

シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティグループ・インデックスLLCが開発した、世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

ファンドは、各マザーファンドのベンチマークを次ページの基本ポートフォリオで組み合わせた合成指数をベンチマークとします。

※1 ボトムアップ・アプローチとは、個別企業についての調査・分析を基にした、個別銘柄の選択によってポートフォリオを構築する投資手法です。

※2 ベンチマークとは、ファンドの運用成果を判断するための基準となる指標をいい、ファンドが目標とする運用成果そのものを表すものではありません。従って、ファンドおよびマザーファンドは、いずれも特定のベンチマークに投資成果が連動するインデックスファンドではありません。

※3 デュレーション・マネジメントとは、金利の変動を的確に予想し、公社債の値上がり利益獲得を目指す運用手法です。

投資態度

● 基本ポートフォリオ

ファンドでは、以下の基本ポートフォリオの資産構成比に基づいて各資産を組入れます。また、基本ポートフォリオの資産構成比を基準（中心値）とし、市場見通しにしたがい一定の範囲内でアセットアロケーションを変更することがあります。基本ポートフォリオならびに変更幅は原則として毎年見直しを行います。

青のライフキャンパス・ファンド(標準型)

	基本ポートフォリオ*(%)	変更幅
国内株式	33.0	±10.0
国内債券	38.0	±10.0
外国株式	15.0	±10.0
外国債券	12.0	±10.0
現預金	2.0	-2.0～+40.0
合計	100.0	

赤のライフキャンパス・ファンド(積極型)

	基本ポートフォリオ*(%)	変更幅
国内株式	44.0	±10.0
国内債券	23.0	±10.0
外国株式	17.0	±10.0
外国債券	14.0	±10.0
現預金	2.0	-2.0～+40.0
合計	100.0	

※基本ポートフォリオにおける各資産の比率は、信託財産に属する各マザーファンドの時価総額に、各マザーファンドの信託財産の純資産総額に占める各資産の時価総額の割合を乗じて得た額と、信託財産に属する各資産の合計額を信託財産の純資産総額で除したものです。

- 実質組入れ外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等により為替ヘッジを行う場合があります。
- 信託財産に属する資産について、国内において行われる通貨にかかる先物取引、通貨にかかる選択権取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。また、有価証券の価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利にかかる先物取引および金利にかかるオプション取引ならびに外国の金融商品取引所等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。
- 信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことができます。
- 信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことができます。
- 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 【投資対象】

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。）
 - 有価証券
 - デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款に定めるものに限りません。）
 - 金銭債権
 - 約束手形

b. 次に掲げる特定資産以外の資産

(1) 為替手形

国内株式マザーファンド、国内債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドを主要投資対象とします。

委託会社は、信託金を主として、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。ただし、私募により発行された有価証券（短期社債等を除きます。）に投資することを指図しません。

1. 国内株式マザーファンド
2. 国内債券マザーファンド
3. 外国株式マザーファンド
4. 外国債券マザーファンド
5. 株券または新株引受権証書
6. 国債証券
7. 地方債証券
8. 特別の法律により法人の発行する債券
9. 社債券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
10. 特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
11. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
12. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
13. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
14. 特定目的会社にかかる優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
15. コマーシャル・ペーパー
16. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。）および新株予約権証券
17. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
18. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
19. 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
20. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
21. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限りません。）
22. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
23. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
24. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
25. 外国の者に対する権利で前号の有価証券の性質を有するもの

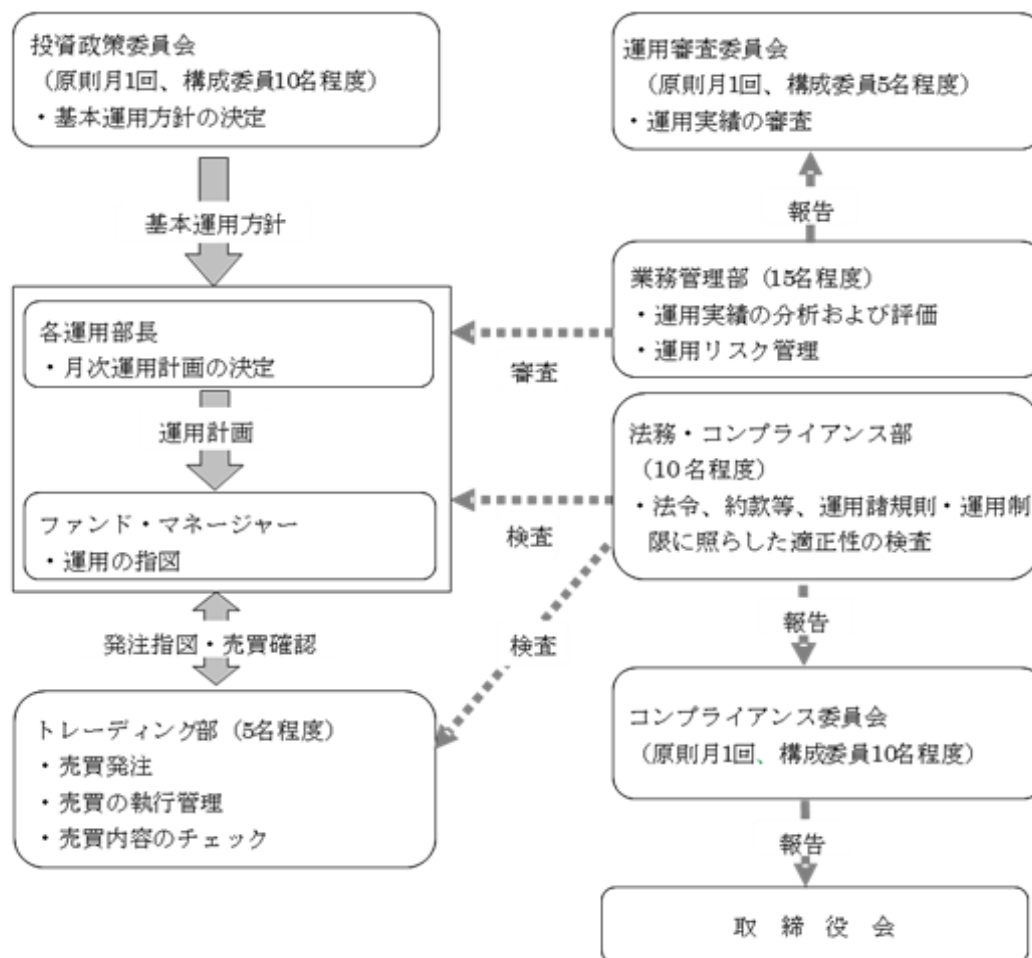
なお、第5号の証券または証書、第17号および第22号の証券または証書のうち第5号の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第6号から第11号までの証券および第17号および第22号の証券または証書のうち第6号から第11号までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第18号の証券および第19号の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

（３）【運用体制】

委託会社の運用体制は以下の通りです。



個別ファンドの運用計画については、ファンド・マネージャーが組入比率等の計画を立案し、各運用部長の承認を経て実施されます。

受託会社に対しては、日々の純資産照会等を行っています。また、内部統制の有効性に関する報告書を定期的に受け取っています。

委託会社の運用体制等は平成27年2月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

年1回、毎決算時（2月15日。ただし、該当日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、配当等収益および売買益等の全額から諸経費を控除した額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

配当等収益とは、配当金、利子、貸付有価証券にかかる品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額で、みなし配当等収益との合計額から諸経費、監査費用（税込）、信託報酬（税込）を控除した後、その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

売買益とは、売買損益に評価損益を加減して得た額からみなし配当等収益を控除して得た利益金額で、諸経費、監査費用（税込）、信託報酬（税込）を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

みなし配当等収益とは、マザーファンドの信託財産にかかる配当等収益の額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの時価総額の割合を乗じて得た金額をいいます。

毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

（５）【投資制限】

ファンドの信託約款に基づく投資制限

「青のライフキャンパス・ファンド（標準型）」

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の60以上となる投資の指図をしません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の40を超えることとなる投資の指図をしません。

「赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）」

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の70以上となる投資の指図をしません。
- b. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。

「ライフキャンパス・ファンド」共通

- c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとし、ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
(2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該新株引受権証券および当該新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
(2) 前項の信用取引の指図は、次の各号に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の各号に掲げる株券数の合計数を超えないものとし、
 1. 信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売出しにより取得する株券
 5. 信託財産に属する転換社債の転換請求および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得可能な株券

6. 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（前号に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- h . (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の市場等におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- (2) 委託会社は、信託財産について、わが国の金融商品取引所等における通貨にかかる先物取引ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- (3) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の市場におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- i . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（スワップ取引）を行うことの指図をすることができます。
- j . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- k . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けの指図をすることができます。
1. 株式の貸付けは、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
2. 公社債の貸付けは、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付けにあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- l . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) 前項の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- m . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めたときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) 前項の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返済するための指図をするものとします。
- (4) 前項(1)の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- n . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該転換社債および当該転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- o . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該公社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が、信託

財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません（ただし、国債は除きます。）。

- p. 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- q. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (2) 前項の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の買予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額と、信託財産にかかる為替の売予約とマザーファンドの信託財産にかかる為替の売予約のうち信託財産に属するとみなした額との合計額との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (3) 前項(2)の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- r. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) 前項の資金借入額は、次の各号に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
1. 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) 前項の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は投資信託財産中から支弁します。
- s. デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

「投資信託及び投資法人に関する法律」および関係法令に基づく投資制限

- a. 委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書に係る取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。
- b. 委託会社は、同一の法人の発行する株式について、委託会社が運用の指図を行う全ての委託者指図型投資信託につき信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50を乗じて得た数を超えることとなる場合において、当該株式を信託財産をもって取得することを受託会社に指図してはなりません。

（参考）マザーファンドの概要

国内株式マザーファンド

（1）投資方針

TOPIX（東証株価指数）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

ボトム・アップ・アプローチにより利益の成長性、財務体質の健全性、経営戦略などの観点から投資価値が高いと判断される銘柄に投資を行います。

業種配分については、ボトム・アップ・アプローチに加え、マクロ・セミマクロ経済分析を加味して決定します。

セミマクロ経済分析とは、マクロの経済分析とミクロの企業分析との中間に位置し、経済を産業レベルから把握しようとする分析手法です。

株式の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

特定の銘柄や業種に対し、過度の集中がないように配慮します。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

（２）投資対象

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

（３）投資制限

- a. 株式への投資割合には制限を設けません。
- b. 外貨建資産への投資は行いません。
- c. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
(2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
(2) 前項の信用取引の指図は、次の各号に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の各号に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 1. 信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売出しにより取得する株券
 5. 信託財産に属する転換社債の転換請求および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得可能な株券
 6. 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（前号に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券
- h. 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- i. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。
 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面の合計額を超えないものとします。
(2) 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
(3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- j. 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

- k . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) 前項の資金借入額は、次の各号に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
- 1 . 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 - 2 . 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 - 3 . 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) 前項の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- l . デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

国内債券マザーファンド

(1) 投資方針

NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、長期的にこれを上回る投資成果を目指します。

投資対象は、原則としてA格相当（スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ、格付投資情報センター、日本格付研究所のいずれかから取得したもの）以上の信用格付を有する公社債とし、信用リスクや利回り格差等を考慮のうえ組入銘柄を選定します。ただし、市況状況等によってはBBB格相当の公社債に投資する場合もあります。

主としてデュレーション・マネジメントにより、アクティブ運用を行います。

公社債の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

(3) 投資制限

- a . 株式への投資は行いません。
- b . 外貨建資産への投資は行いません。
- c . 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- d . 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- e . (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- (2) スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (3) スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- (4) スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算定した価額で評価するものとします。

- (5) 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供を要求され委託会社が必要と認めるときあるいは受入れが必要と委託会社が認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- f . (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、金利先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (2) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (3) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、信託財産にかかるヘッジ対象金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記ヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額がヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- (4) 金利先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (5) 委託会社は、金利先渡取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- (6) f に規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日（以下「決済日」といいます。）における決済日から一定の期間を経過した日（以下「満期日」といいます。）までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率（以下「指標利率」といいます。）の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- h . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) 前項の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- i . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) 前項の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (4) 前項の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- j . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

- k. 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません(ただし、国債は除きます。)
- l. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) 前項の資金借入額は、次の各号に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
1. 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) 前項の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- m. デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

外国株式マザーファンド

(1) 投資方針

MSCI-KOKUSAI インデックス(除く日本:円ベース)の採用国に上場または店頭登録されている銘柄を主要投資対象とします。

MSCI-KOKUSAI インデックス(除く日本:円ベース)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

国別配分については、各市場のマクロ、ミクロ分析に基づき機動的に変更を行います。

業種配分については、マクロ・セミマクロ経済分析に基づいて決定します。

銘柄選択については、成長性の水準と変化率、バリュエーションなどを考慮して決定します。

株式の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、市場動向等により為替ヘッジを行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 投資対象

日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。

(3) 投資制限

- a. 株式への投資割合には制限を設けません。
- b. 外貨建資産への投資には制限を設けません。
- c. 委託会社は、取得時において信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。
- d. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- e. (1) 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)されている株式の発行会社の発行するもの、金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式については、この限りではありません。
- (2) 前項の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図できるものとします。
- f. (1) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

- (2) 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) 前項の信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。
- h . (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。
- (2) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引および先物オプション取引を行うことの指図をすることができます。
- i . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- j . (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (2) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- (3) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、純資産総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- (4) 為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- (5) 委託会社は、為替先渡取引を行うにあたり担保の提供を要求されその必要性を認めるときあるいは担保の受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
- (6) j に規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引（同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。）のスワップ幅（当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。）を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
- k . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の各号の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。
- 1 . 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。

2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- l. 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- m. (1) 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産のヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (2) 前項の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と信託財産にかかる為替の売予約との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (3) 前項の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- n. 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債、転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- o. (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) 前項の資金借入額は、次の各号に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
1. 換金代金の支払資金の手当てのために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) 前項の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- p. デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

外国債券マザーファンド

(1) 投資方針

シティ世界国債インデックス構成国の国債を投資対象とします。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。

機動的な国別配分の変更、デュレーション・マネジメントなどによるアクティブ運用を行います。

公社債の組入比率は、原則として高位とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行う場合があります。

外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。ただし、市場動向等により為替ヘッジを行う場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

(2) 投資対象

日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。

(3) 投資制限

a. 外貨建資産への投資には制限を設けません。

b. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

c. (1) 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所等における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引なら

びに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取扱うものとします。

- (2) 委託会社は、信託財産に属する資産の為替変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引および先物オプション取引を行うことの指図をすることができます。
 - (3) 委託会社は、わが国の金融商品取引所等における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。
- d. 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- e. (1) 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- (2) 金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
 - (3) 金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、信託財産にかかるヘッジ対象金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、上記ヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額が減少して、金利先渡取引の想定元本の合計額がヘッジ対象金利商品の時価総額の合計額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
 - (4) 為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の換金等の事由により、純資産総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の合計額が純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
 - (5) 金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
 - (6) 委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行うにあたり担保の提供を要求されその必要性を認めたときあるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。
 - (7) eに規定する「金利先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ将来の特定の日（以下「決済日」といいます。）における決済日から一定の期間を経過した日（以下「満期日」といいます。）までの期間に係る国内または海外において代表的利率として公表される預金契約または金銭の貸借契約に基づく債権の利率（以下「指標利率」といいます。）の数値を取り決め、その取り決めに係る数値と決済日における当該指標利率の現実の数値との差にあらかじめ元本として定めた金額および当事者間で約定した日数を基準とした数値を乗じた額を決済日における当該指標利率の現実の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。
 - (8) eに規定する「為替先渡取引」は、当事者間において、あらかじめ決済日から満期日までの期間に係る為替スワップ取引（同一の相手方との間で直物外国為替取引および当該直物外国為替取引と反対売買の関係に立つ先物外国為替取引を同時に約定する取引をいいます。）のスワップ幅（当該直物外国為替取引に係る外国為替相場と当該先物外国為替取引に係る外国為替相場との差を示す数値をいいます。）を取り決め、その取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭またはその取り決めに係るスワップ幅から決済日における当該為替スワップ取引の現実のスワップ幅を差し引いた値にあらかじめ元本として定めた金額を乗じた金額とあらかじめ元本として定めた金額について決済日を受渡日として行った先物外国為替取引を決済日における直物外国為替取引で反対売買したときの差金に係る決済日から満期日までの利息とを合算した額を決済日における指標利率の数値で決済日における現在価値に割り引いた額の金銭の授受を約する取引をいいます。

- f . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する公社債を次の範囲内で貸付けることの指図をすることができます。公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- (2) 前項に定める限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- (3) 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めるときは、担保の受入れの指図を行うものとします。
- g . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付の決済については、公社債（信託財産により借入れた公社債を含みます。）の引渡または買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- (2) 前項の売付の指図は、当該売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の売付にかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付の一部を決済するための指図をするものとします。
- h . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- (2) 前項の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- (3) 信託財産の換金等の事由により、前項の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- (4) 前項の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。
- i . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- j . 委託会社は、取得時において信託財産に属する同一発行体の発行する公社債の時価総額が、信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません（ただし、国債は除きます。）。
- k . 外貨建資産への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。
- l . (1) 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産のヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- (2) 前項の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約と信託財産にかかる為替の売予約との差額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- (3) 前項の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内にその超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。
- m . (1) 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において換金代金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借入れの指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- (2) 前項の資金借入額は、次の各号に掲げる要件を満たす範囲内の額とします。
1. 換金代金の支払資金の手当のために行った有価証券等の売却等による受取りの確定している資金の額の範囲内
 2. 換金代金支払日の前営業日において確定した当該支払日における支払資金の不足額の範囲内
 3. 借入れ指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内
- (3) 前項の借入期間は、有価証券等の売却代金の入金日までに限るものとします。
- (4) 借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- n . デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

3【投資リスク】

（1）基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。

したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株価変動リスク

株式の価格は、発行企業の業績や財務状況、市場・経済の状況等を反映して変動します。特に企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株価が大きく下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

債券価格変動リスク

債券（公社債）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産は通貨の価格変動によって評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。外貨建資産の評価額が下落した場合、基準価額が値下がりする要因となります。

カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制が設けられた場合は、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

信用リスク

有価証券の発行者、または金融商品の運用先に債務不履行等が発生または懸念される場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値がなくなることがあります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

流動性リスク

市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱等のために、市場における取引の不成立や通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。

基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

（2）その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入頂いた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

マザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該ベビーファンドの購入・換金等による資金変動に伴い、マザーファンドにおいても売買が生じ、ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

（3）リスクの管理体制

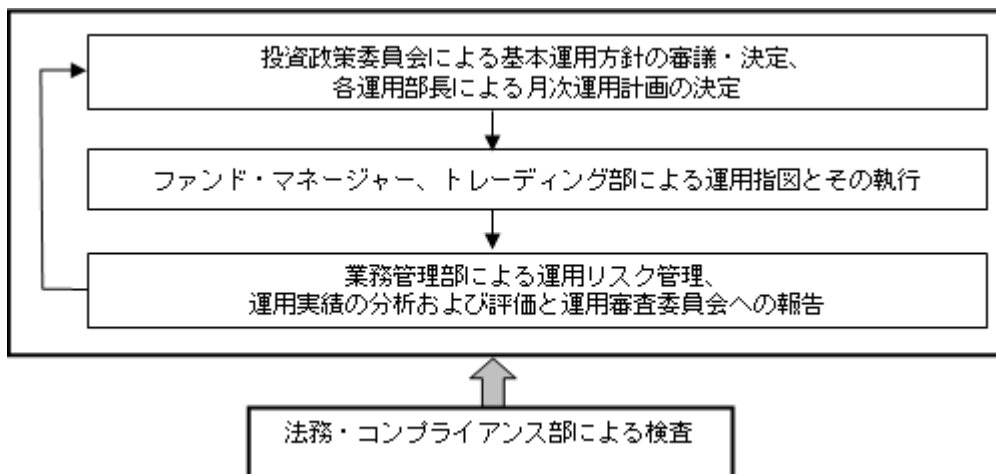
委託会社では、運用部門は定められた運用プロセスを通じて投資リスクを管理します。

また、運用部門から独立した部門がファンドのパフォーマンス評価・分析および法令・運用諸規則等に照らした適正性の審査等の結果について、各種委員会等に報告を行い、必要に応じて適切な措置を講じる体制となっております。

委託会社の投資リスクに対する管理体制は、以下の通りです。

委託会社は、社内規程において投資リスクに関する取扱い基準およびその管理体制についても定めており、下記の運用体制のサイクル自体が、投資リスクの管理体制を兼ねたものとなっています。

- ・ファンド・マネージャーは定期的に、投資環境および市況見通し、ポートフォリオの状況および運用成果等をモニタリングして運用リスクの管理を行いつつ、原則として月次にて（投資環境および市況の著しい変化等に対応する場合には随時）運用計画の見直しを行い、各運用部長による承認を経て、実際の運用指図を行い、トレーディング部がその執行を行っています。
- ・業務管理部は、運用リスク管理を所管するとともに、ファンドのパフォーマンス評価・分析等ファンドの運用に関する審査を月次にて行い、運用審査委員会に報告を行うことにより、運用成績の改善のサポートを行っています。
- ・法務・コンプライアンス部は、法令、約款等、運用諸規則・運用制限に照らした適正性の検査を行い、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

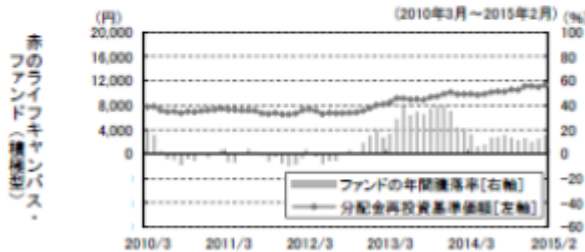


リスクの管理体制は平成27年2月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<参考情報>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移>



(注) ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されており、実際の基準価額及び実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

- * 右のグラフは、2010年3月から2015年2月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- * 右グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- * 上記の騰落率は2015年2月末から遡って算出した結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- * 詳細は「指数に関して」をご参照ください。

●指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIX に関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東証証券取引所に帰属します。

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは MSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI が開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われる T&D アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

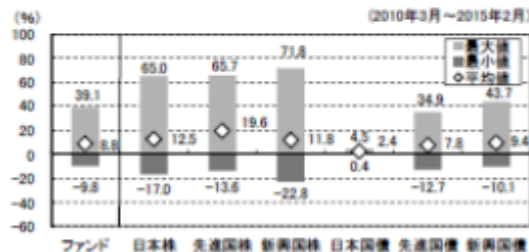
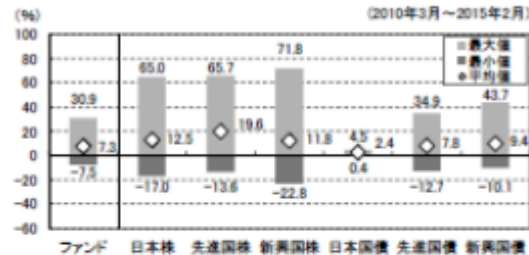
シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティグループ・インデックス LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はシティグループ・インデックス LLC に帰属します。

JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイドは、JP モルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権は JP モルガン社に帰属します。

<ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較>



4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

2.16%（税抜2.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を、発行価格に乗じて得た額とします。申込手数料は、ファンドの商品説明、販売に係る事務費用等の対価です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。なお、収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（２）【換金（解約）手数料】

ありません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.296%（税抜1.20%）の率を乗じて得た額とします。信託報酬の配分については、以下の通りとします。

[信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率]

委託会社	年0.5616%（税抜0.52%）
販売会社	年0.6480%（税抜0.60%）
受託会社	年0.0864%（税抜0.08%）

[信託報酬等の対価の内容]

委託会社：委託した資金の運用等の対価

販売会社：購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価

受託会社：運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

上記の信託報酬の総額は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

（４）【その他の手数料等】

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産の財務諸表にかかる監査費用（税込）は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.00864%（税抜0.008%）の率を乗じて得た額とし、信託報酬支弁のとき信託財産中から支弁します。

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、組入資産の保管等に要する費用等は、信託財産中から支弁します。

上記、のその他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

当該手数料等の合計額については、受益者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

マザーファンドには、信託報酬および監査費用はありません。

（５）【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金は、配当所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により源泉徴収が行われます。確定申告は不要ですが、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

換金時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）を利用した場合は、原則として確定申告は不要です。

なお、換金時および償還時の損益については、確定申告により、上場株式等の譲渡損益および申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得との損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、平成26年1月1日以降の非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）の税率により源泉徴収が行われます（地方税の源泉徴収はありません。）。

なお、益金不算入制度の適用はありません。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の個別元本にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回購入した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、同一ファンドを複数の販売会社で購入する場合には販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを購入する場合は当該支店毎に、一般コースと自動継続投資コースの両コースで購入する場合にはコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

上記は平成27年4月1日現在のものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【青のライフキャンパス・ファンド（標準型）】

（1）【投資状況】

資産の種類別、地域別の投資状況

（平成27年2月27日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,278	98.56
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	18	1.44
合計（純資産総額）	-	1,296	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（2）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a. 評価額上位銘柄（全銘柄）

（平成27年2月27日現在）

	国名	種類	銘柄名	数量 （口）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資 比率 （％）
1	日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド	535,443,198	0.8229 440,658,367	0.8547 457,643,301	35.30
2	日本	親投資信託 受益証券	国内債券マザーファンド	323,594,397	1.3372 432,733,548	1.3482 436,269,966	33.65
3	日本	親投資信託 受益証券	外国株式マザーファンド	128,506,247	1.7536 225,353,408	1.7791 228,625,464	17.63
4	日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド	56,453,344	2.7430 154,852,330	2.7493 155,207,178	11.97

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別比率

（平成27年2月27日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	98.56
合計	98.56

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

平成27年2月末日及び同日前1年以内における各月末及び直近10計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (単位:百万円)	純資産総額 (分配付) (単位:百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落) (単位:円)	1口当たりの 純資産額 (分配付) (単位:円)
第6期 計算期間 (平成18年2月15日現在)	4,040	4,040	0.9907	0.9907
第7期 計算期間 (平成19年2月15日現在)	4,108	4,341	1.0052	1.0622
第8期 計算期間 (平成20年2月15日現在)	3,882	3,882	0.9042	0.9042
第9期 計算期間 (平成21年2月16日現在)	3,052	3,052	0.7098	0.7098
第10期 計算期間 (平成22年2月15日現在)	3,406	3,406	0.7905	0.7905
第11期 計算期間 (平成23年2月15日現在)	3,545	3,545	0.8194	0.8194
第12期 計算期間 (平成24年2月15日現在)	3,370	3,370	0.7732	0.7732
第13期 計算期間 (平成25年2月15日現在)	1,016	1,016	0.8771	0.8771
第14期 計算期間 (平成26年2月17日現在)	1,120	1,154	0.9934	1.0244
平成26年2月末日	1,160	-	1.0011	-
平成26年3月末日	1,162	-	1.0024	-
平成26年4月末日	1,150	-	0.9916	-
平成26年5月末日	1,164	-	1.0029	-
平成26年6月末日	1,190	-	1.0256	-
平成26年7月末日	1,203	-	1.0359	-
平成26年8月末日	1,203	-	1.0358	-
平成26年9月末日	1,234	-	1.0619	-
平成26年10月末日	1,233	-	1.0598	-
平成26年11月末日	1,293	-	1.1118	-
平成26年12月末日	1,299	-	1.1158	-
平成27年1月末日	1,285	-	1.1027	-
第15期 計算期間 (平成27年2月16日現在)	1,163	1,291	0.9989	1.1089
平成27年2月末日	1,296	-	1.0175	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金（円）
第6期 計算期間（平成18年2月15日）	0.0000
第7期 計算期間（平成19年2月15日）	0.0570
第8期 計算期間（平成20年2月15日）	0.0000
第9期 計算期間（平成21年2月16日）	0.0000
第10期 計算期間（平成22年2月15日）	0.0000
第11期 計算期間（平成23年2月15日）	0.0000
第12期 計算期間（平成24年2月15日）	0.0000
第13期 計算期間（平成25年2月15日）	0.0000
第14期 計算期間（平成26年2月17日）	0.0310
第15期 計算期間（平成27年2月16日）	0.1100

【収益率の推移】

	収益率（％）
第6期 計算期間（平成17年2月16日～平成18年2月15日）	17.86
第7期 計算期間（平成18年2月16日～平成19年2月15日）	7.22
第8期 計算期間（平成19年2月16日～平成20年2月15日）	10.05
第9期 計算期間（平成20年2月16日～平成21年2月16日）	21.50
第10期 計算期間（平成21年2月17日～平成22年2月15日）	11.37
第11期 計算期間（平成22年2月16日～平成23年2月15日）	3.66
第12期 計算期間（平成23年2月16日～平成24年2月15日）	5.64
第13期 計算期間（平成24年2月16日～平成25年2月15日）	13.44
第14期 計算期間（平成25年2月16日～平成26年2月17日）	16.79
第15期 計算期間（平成26年2月18日～平成27年2月16日）	11.63

（注）収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第6期 計算期間（平成17年2月16日～平成18年2月15日）	42,480,766	19,841,194
第7期 計算期間（平成18年2月16日～平成19年2月15日）	17,645,665	8,362,857
第8期 計算期間（平成19年2月16日～平成20年2月15日）	235,110,131	28,522,546
第9期 計算期間（平成20年2月16日～平成21年2月16日）	18,342,942	11,602,226
第10期 計算期間（平成21年2月17日～平成22年2月15日）	16,667,845	8,851,421
第11期 計算期間（平成22年2月16日～平成23年2月15日）	24,283,512	5,556,928
第12期 計算期間（平成23年2月16日～平成24年2月15日）	40,602,931	8,991,049
第13期 計算期間（平成24年2月16日～平成25年2月15日）	12,552,738	3,212,469,518
第14期 計算期間（平成25年2月16日～平成26年2月17日）	12,664,726	44,200,046
第15期 計算期間（平成26年2月18日～平成27年2月16日）	46,233,343	9,102,232

（注）設定口数および解約口数は、全て本邦内におけるものです。

【赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）】

（１）【投資状況】

資産の種類別、地域別の投資状況

（平成27年2月27日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,254	98.28
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	22	1.72
合計（純資産総額）	-	1,276	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a. 評価額上位銘柄（全銘柄）

（平成27年2月27日現在）

	国名	種類	銘柄名	数量 （口）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資 比率 （％）
1	日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド	689,624,417	0.8229 567,500,141	0.8547 589,421,989	46.18
2	日本	親投資信託 受益証券	外国株式マザーファンド	140,669,858	1.7537 246,697,403	1.7791 250,265,744	19.61
3	日本	親投資信託 受益証券	国内債券マザーファンド	176,338,683	1.3372 235,802,922	1.3482 237,739,812	18.63
4	日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド	64,363,213	2.7430 176,554,638	2,7493 176,953,781	13.86

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別比率

（平成27年2月27日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	98.28
合計	98.28

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

平成27年2月末日及び同日前1年以内における各月末及び直近10計算期間末日の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 （分配落） （単位：百万円）	純資産総額 （分配付） （単位：百万円）	1口当たりの 純資産額 （分配落） （単位：円）	1口当たりの 純資産額 （分配付） （単位：円）

第6期 計算期間 (平成18年2月15日現在)	3,939	3,939	0.9680	0.9680
第7期 計算期間 (平成19年2月15日現在)	4,104	4,296	1.0072	1.0542
第8期 計算期間 (平成20年2月15日現在)	3,714	3,714	0.8721	0.8721
第9期 計算期間 (平成21年2月16日現在)	2,683	2,683	0.6280	0.6280
第10期 計算期間 (平成22年2月15日現在)	3,075	3,075	0.7176	0.7176
第11期 計算期間 (平成23年2月15日現在)	3,226	3,226	0.7502	0.7502
第12期 計算期間 (平成24年2月15日現在)	2,984	2,984	0.6931	0.6931
第13期 計算期間 (平成25年2月15日現在)	929	929	0.8062	0.8062
第14期 計算期間 (平成26年2月17日現在)	1,112	1,112	0.9718	0.9718
平成26年2月末日	1,123	-	0.9809	-
平成26年3月末日	1,120	-	0.9830	-
平成26年4月末日	1,103	-	0.9682	-
平成26年5月末日	1,121	-	0.9822	-
平成26年6月末日	1,146	-	1.0108	-
平成26年7月末日	1,162	-	1.0234	-
平成26年8月末日	1,163	-	1.0219	-
平成26年9月末日	1,200	-	1.0541	-
平成26年10月末日	1,200	-	1.0505	-
平成26年11月末日	1,266	-	1.1102	-
平成26年12月末日	1,269	-	1.1121	-
平成27年1月末日	1,256	-	1.0976	-
第15期 計算期間 (平成27年2月16日現在)	1,142	1,266	0.9996	1.1086
平成27年2月末日	1,276	-	1.0214	-

【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第6期 計算期間(平成18年2月15日)	0.0000
第7期 計算期間(平成19年2月15日)	0.0470
第8期 計算期間(平成20年2月15日)	0.0000
第9期 計算期間(平成21年2月16日)	0.0000
第10期 計算期間(平成22年2月15日)	0.0000
第11期 計算期間(平成23年2月15日)	0.0000
第12期 計算期間(平成24年2月15日)	0.0000
第13期 計算期間(平成25年2月15日)	0.0000
第14期 計算期間(平成26年2月17日)	0.0000
第15期 計算期間(平成27年2月16日)	0.1090

【収益率の推移】

	収益率（％）
第6期 計算期間（平成17年2月16日～平成18年2月15日）	23.25
第7期 計算期間（平成18年2月16日～平成19年2月15日）	8.90
第8期 計算期間（平成19年2月16日～平成20年2月15日）	13.41
第9期 計算期間（平成20年2月16日～平成21年2月16日）	27.99
第10期 計算期間（平成21年2月17日～平成22年2月15日）	14.27
第11期 計算期間（平成22年2月16日～平成23年2月15日）	4.54
第12期 計算期間（平成23年2月16日～平成24年2月15日）	7.61
第13期 計算期間（平成24年2月16日～平成25年2月15日）	16.32
第14期 計算期間（平成25年2月16日～平成26年2月17日）	20.54
第15期 計算期間（平成26年2月18日～平成27年2月16日）	14.08

（注）収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た数字です。（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数
第6期 計算期間（平成17年2月16日～平成18年2月15日）	40,500,643	6,128,985
第7期 計算期間（平成18年2月16日～平成19年2月15日）	11,636,221	6,205,074
第8期 計算期間（平成19年2月16日～平成20年2月15日）	196,820,096	12,523,646
第9期 計算期間（平成20年2月16日～平成21年2月16日）	17,301,816	3,577,091
第10期 計算期間（平成21年2月17日～平成22年2月15日）	17,129,918	3,833,314
第11期 計算期間（平成22年2月16日～平成23年2月15日）	25,255,546	10,378,960
第12期 計算期間（平成23年2月16日～平成24年2月15日）	14,830,454	9,924,127
第13期 計算期間（平成24年2月16日～平成25年2月15日）	19,621,585	3,173,494,977
第14期 計算期間（平成25年2月16日～平成26年2月17日）	14,030,315	21,414,278
第15期 計算期間（平成26年2月18日～平成27年2月16日）	19,585,121	21,872,442

（注）設定口数および解約口数は、全て本邦内におけるものです。

（参考）マザーファンドの状況

国内株式マザーファンド

（１）投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

（平成27年2月27日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
株式	日本	9,391	98.31
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	162	1.69
合計（純資産総額）	-	9,553	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 評価額上位銘柄（30銘柄）

（平成27年2月27日現在）

	国名	種類	業種	銘柄名	数量 (株)	簿価単価(円) 簿価金額(円)	時価単価(円) 時価金額(円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	輸送用機器	トヨタ自動車	68,500	7,830.00 536,355,662	8,063.00 552,315,500	5.78
2	日本	株式	銀行業	三菱UFJフィナンシャル・グループ	462,000	729.21 336,898,974	777.70 359,297,400	3.76
3	日本	株式	銀行業	三井住友フィナンシャルグループ	51,300	4,441.38 227,843,110	4,759.50 244,162,350	2.56
4	日本	株式	電気機器	日本電産	28,900	8,206.46 237,166,694	8,072.00 233,280,800	2.44
5	日本	株式	輸送用機器	いすゞ自動車	129,100	1,661.84 214,544,129	1,737.00 224,246,700	2.35
6	日本	株式	陸運業	東日本旅客鉄道	20,500	9,758.94 200,058,418	10,035.00 205,717,500	2.15
7	日本	株式	医薬品	アステラス製薬	105,500	1,812.32 191,200,374	1,901.00 200,555,500	2.10
8	日本	株式	電気機器	村田製作所	13,600	12,770.49 173,678,666	14,745.00 200,532,000	2.10
9	日本	株式	化学	ダイセル	122,000	1,557.00 189,954,000	1,552.00 189,344,000	1.98
10	日本	株式	ゴム製品	ブリヂストン	36,000	4,601.46 165,652,707	4,584.00 165,024,000	1.73
11	日本	株式	電気機器	ファナック	6,700	22,390.00 150,013,000	22,945.00 153,731,500	1.61
12	日本	株式	小売業	マツモトキヨシホールディングス	36,600	3,841.19 140,587,699	3,990.00 146,034,000	1.53
13	日本	株式	化学	ニフコ	34,800	3,946.32 137,331,936	4,110.00 143,028,000	1.50
14	日本	株式	サービス業	エイチ・アイ・エス	34,400	3,686.26 126,807,673	4,020.00 138,288,000	1.45
15	日本	株式	医薬品	沢井製薬	18,600	7,471.70 138,973,671	7,430.00 138,198,000	1.45
16	日本	株式	機械	クボタ	71,000	1,837.50 130,462,500	1,944.50 138,059,500	1.45
17	日本	株式	食料品	ニチレイ	224,000	577.10 129,271,518	616.00 137,984,000	1.44
18	日本	株式	化学	花王	25,300	5,083.93 128,623,597	5,350.00 135,355,000	1.42
19	日本	株式	食料品	江崎グリコ	25,700	4,583.69 117,800,872	5,220.00 134,154,000	1.40
20	日本	株式	保険業	東京海上ホールディングス	30,800	4,201.56 129,408,239	4,350.50 133,995,400	1.40
21	日本	株式	小売業	セブン&アイ・ホールディングス	28,700	4,516.79 129,632,036	4,573.50 131,259,450	1.37
22	日本	株式	電気機器	サンケン電気	152,000	864.00 131,328,000	860.00 130,720,000	1.37
23	日本	株式	銀行業	みずほフィナンシャルグループ	581,800	211.96 123,323,475	220.50 128,286,900	1.34

24	日本	株式	空運業	日本航空	34,600	3,724.96 128,883,641	3,680.00 127,328,000	1.33
25	日本	株式	サービス業	カカクコム	63,500	1,854.87 117,784,732	1,984.00 125,984,000	1.32
26	日本	株式	情報・通信業	日本電信電話	16,900	7,323.57 123,768,425	7,420.00 125,398,000	1.31
27	日本	株式	精密機器	テルモ	37,900	3,090.22 117,119,540	3,300.00 125,070,000	1.31
28	日本	株式	建設業	大成建設	171,000	660.16 112,887,592	722.00 123,462,000	1.29
29	日本	株式	情報・通信業	ソフトバンク	15,500	7,097.00 110,003,500	7,367.00 114,188,500	1.20
30	日本	株式	小売業	三越伊勢丹ホールディングス	62,400	1,741.29 108,657,016	1,829.00 114,129,600	1.19

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別及び業種別比率

（平成27年2月27日現在）

種類	業種	投資比率(%)
株式	輸送用機器	13.09
株式	電気機器	12.68
株式	銀行業	9.60
株式	化学	8.89
株式	情報・通信業	7.08
株式	食料品	5.21
株式	機械	5.02
株式	小売業	5.01
株式	医薬品	4.51
株式	サービス業	4.34
株式	陸運業	3.60
株式	保険業	2.51
株式	建設業	2.29
株式	不動産業	2.15
株式	卸売業	1.95
株式	精密機器	1.82
株式	ゴム製品	1.73
株式	空運業	1.33
株式	鉄鋼	1.23
株式	証券、商品先物取引業	1.15
株式	ガラス・土石製品	1.02
株式	金属製品	0.93
株式	電気・ガス業	0.75
株式	その他金融業	0.42
合計		98.31

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各業種の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

国内債券マザーファンド

(1) 投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

(平成27年2月27日現在)

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
国債証券	日本	8,596	81.57
社債券	日本	919	8.72
特殊債券	日本	615	5.84
地方債証券	日本	308	2.92
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	100	0.95
合計（純資産総額）	-	10,538	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。)

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 評価額上位銘柄（30銘柄）

(平成27年2月27日現在)

	国名	種類	銘柄名	券面総額 （円）	簿価単価（円） 簿価金額（円）	時価単価（円） 時価金額（円）	投資 比率 （％）	クー ポン （％）	償還日
1	日本	国債証券	第297回利付国債 （10年）	1,598,000,000	104.98 1,677,692,260	105.20 1,681,096,000	15.95	1.40	H30.12.20
2	日本	国債証券	第305回利付国債 （10年）	1,314,000,000	105.57 1,387,202,940	105.88 1,391,315,760	13.20	1.30	H31.12.20
3	日本	国債証券	第113回利付国債 （20年）	769,000,000	118.34 910,037,010	119.03 915,402,220	8.69	2.10	H41.9.20
4	日本	国債証券	第42回利付国債 （30年）	533,000,000	104.83 558,770,260	106.74 568,950,850	5.40	1.70	H56.3.20
5	日本	国債証券	第333回利付国債 （10年）	543,000,000	101.84 553,000,860	102.86 558,573,240	5.30	0.60	H36.3.20
6	日本	国債証券	第289回利付国債 （10年）	503,000,000	104.12 523,733,730	104.17 523,975,100	4.97	1.50	H29.12.20
7	日本	国債証券	第146回利付国債 （20年）	459,000,000	108.33 497,263,950	110.86 508,874,940	4.83	1.70	H45.9.20
8	日本	国債証券	第122回利付国債 （20年）	363,000,000	112.60 408,770,670	114.62 416,077,860	3.95	1.80	H42.9.20
9	日本	国債証券	第130回利付国債 （20年）	357,000,000	111.77 399,047,460	114.03 407,094,240	3.86	1.80	H43.9.20
10	日本	国債証券	第331回利付国債 （10年）	300,000,000	102.08 306,249,000	103.05 309,177,000	2.93	0.60	H35.9.20
11	日本	国債証券	第310回利付国債 （10年）	276,000,000	104.76 289,137,600	105.17 290,271,960	2.75	1.00	H32.9.20
12	日本	国債証券	第30回利付国債 （30年）	187,000,000	117.58 219,883,950	120.30 224,966,610	2.13	2.30	H51.3.20
13	日本	地方債証券	平成18年度第2回 大阪市公募公債	200,000,000	102.54 205,090,000	102.51 205,030,000	1.95	2.00	H28.6.22
14	日本	国債証券	第303回利付国債 （10年）	175,000,000	105.79 185,132,500	106.08 185,641,750	1.76	1.40	H31.9.20
15	日本	特殊債券	第3回貸付債権担保 住宅金融公庫債券	127,080,000	104.65 132,990,490	104.78 133,156,965	1.26	1.85	H48.9.10
16	日本	国債証券	第140回利付国債 （20年）	115,000,000	109.32 125,722,600	111.70 128,457,300	1.22	1.70	H44.9.20

17	日本	国債証券	第312回利付国債 (10年)	111,000,000	106.13 117,809,850	106.55 118,279,380	1.12	1.20	H32.12.20
18	日本	国債証券	第113回利付国債 (5年)	114,000,000	100.76 114,872,100	100.92 115,052,220	1.09	0.30	H30.6.20
19	日本	社債券	第8回電源開発株式 会社無担保社債	100,000,000	112.16 112,169,000	113.03 113,035,000	1.07	2.11	H36.12.20
20	日本	社債券	第458回関西電力 株式会社社債	100,000,000	103.70 103,708,000	103.78 103,783,000	0.98	1.83	H29.9.20
21	日本	地方債証券	平成18年度第11 回大阪市公募公債	100,000,000	103.10 103,100,000	103.11 103,114,000	0.98	1.80	H28.12.21
22	日本	社債券	第417回九州電力 株式会社社債	100,000,000	100.84 100,844,000	100.94 100,942,000	0.96	0.64	H29.8.25
23	日本	社債券	第26回株式会社み ずほコーポレート銀 行無担保社債	100,000,000	100.48 100,489,000	100.50 100,506,000	0.95	0.54	H28.7.20
24	日本	特殊債券	第89回貸付債権担 保住宅金融支援機構 債券	98,752,000	100.71 99,461,039	101.68 100,419,921	0.95	0.95	H61.10.10
25	日本	社債券	第25回三菱UFJ リース株式会社無担 保社債	100,000,000	100.31 100,313,000	100.40 100,402,000	0.95	0.31	H29.11.21
26	日本	特殊債券	い第725号農林債	100,000,000	100.20 100,208,220	100.20 100,208,220	0.95	0.40	H27.10.27
27	日本	特殊債券	第40回中日本高速 道路株式会社社債	100,000,000	100.19 100,191,000	100.20 100,202,000	0.95	0.30	H28.3.18
28	日本	社債券	第3回興銀リース株 式会社無担保社債	100,000,000	100.12 100,121,000	100.15 100,152,000	0.95	0.27	H28.12.2
29	日本	社債券	第25回株式会社日 産フィナンシャル サービス無担保社債	100,000,000	100.06 100,069,000	100.12 100,120,000	0.95	0.21	H28.12.20
30	日本	社債券	第425回九州電力 株式会社社債	100,000,000	100.04 100,042,000	100.12 100,120,000	0.95	0.28	H29.2.24

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別比率

(平成27年2月27日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	81.57
地方債証券	2.92
特殊債券	5.84
社債券	8.72
合計	99.05

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

投資不動産物件
該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの
該当事項はありません。

外国株式マザーファンド

(1) 投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

資産の種類	国/地域	時価合計（百万円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	2,898	60.58
	イギリス	281	5.88
	ドイツ	259	5.41
	スイス	212	4.42
	フランス	114	2.37
	オーストラリア	108	2.25
	カナダ	97	2.03
	スウェーデン	80	1.68
	スペイン	69	1.43
	アイルランド	67	1.40
	オランダ	55	1.16
	イタリア	48	1.01
	デンマーク	43	0.90
	香港	42	0.88
	ベルギー	37	0.78
	シンガポール	31	0.64
	ジャージー	29	0.61
	フィンランド	26	0.54
	バミューダ諸島	20	0.43
	小計		4,517
新株予約権証券	香港	0	0.00
投資証券	アメリカ	158	3.31
	イギリス	17	0.36
	オーストラリア	12	0.25
	カナダ	4	0.08
	小計	192	4.00
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	75	1.59
合計（純資産総額）	-	4,784	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（2）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a. 評価額上位銘柄（30銘柄）

（平成27年2月27日現在）

	国名	種類	通貨	業種	銘柄名	数量 (株)	簿価単価 (現地通貨) 簿価金額 (円)	時価単価 (現地通貨) 時価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	スイス	株式	スイスフラン	食品・飲料・タバコ	NESTLE SA-REG	5,067	70.30 44,561,883	74.60 47,287,574	0.99
2	スイス	株式	スイスフラン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	NOVARTIS AG-REG	3,593	94.70 42,566,163	98.15 44,116,884	0.92
3	アメリカ	株式	USドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	APPLE INC	2,699	127.08 40,908,288	130.41 41,981,856	0.88
4	スイス	株式	スイスフラン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	1,082	243.60 32,973,257	259.00 35,057,773	0.73

5	アメリカ	株式	USドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	CISCO SYSTEMS INC	9,740	29.43 34,188,530	29.91 34,746,141	0.73
6	アメリカ	株式	USドル	不動産	AMERICAN TOWER CORP	2,918	96.40 33,550,078	98.88 34,413,192	0.72
7	アメリカ	株式	USドル	メディア	WALT DISNEY CO/THE	2,653	104.17 32,961,816	104.56 33,085,221	0.69
8	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	VISA INC-CLASS A SHARES	1,011	269.63 32,512,516	273.75 33,009,314	0.69
9	アメリカ	株式	USドル	銀行	WELLS FARGO & CO	5,000	55.33 32,996,045	55.15 32,888,702	0.69
10	アメリカ	株式	USドル	小売	HOME DEPOT INC	2,387	111.89 31,854,802	115.38 32,848,396	0.69
11	アメリカ	株式	USドル	食品・飲料・タバコ	ALTRIA GROUP INC	4,800	54.76 31,349,880	56.09 32,111,300	0.67
12	アメリカ	株式	USドル	エネルギー	EXXON MOBIL CORP	3,031	93.37 33,753,943	88.65 32,047,628	0.67
13	アメリカ	株式	USドル	各種金融	JPMORGAN CHASE & CO	4,356	59.67 31,000,958	61.58 31,993,280	0.67
14	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	PFIZER INC	7,737	34.64 31,965,514	34.59 31,919,374	0.67
15	アメリカ	株式	USドル	半導体・半導体製造装置	TEXAS INSTRUMENTS INC	4,500	57.96 31,110,684	59.42 31,891,605	0.67
16	アメリカ	株式	USドル	保険	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	1,786	148.34 31,598,826	148.34 31,598,826	0.66
17	アメリカ	株式	USドル	資本財	GENERAL ELECTRIC CO	10,219	25.15 30,653,326	25.89 31,555,253	0.66
18	アメリカ	株式	USドル	資本財	3M CO	1,552	165.94 30,716,662	169.61 31,396,005	0.66
19	アメリカ	株式	USドル	公益事業	SOUTHERN CO	5,713	45.88 31,262,150	45.76 31,180,383	0.65
20	アメリカ	株式	USドル	メディア	COMCAST CORP-CL A	4,400	59.46 31,206,518	59.15 31,041,210	0.65
21	アイルランド	株式	USドル	ヘルスケア機器・サービス	MEDTRONIC PLC	3,278	75.26 29,424,180	78.81 30,812,113	0.64
22	アメリカ	株式	USドル	食品・生活必需品小売り	WAL-MART STORES INC	3,077	85.81 31,491,737	83.80 30,754,079	0.64
23	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	MICROSOFT CORP	5,826	43.87 30,483,816	44.05 30,612,366	0.64
24	アメリカ	株式	USドル	電気通信サービス	AT&T INC	7,397	34.66 30,578,444	34.50 30,437,286	0.64
25	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	MERCK & CO. INC.	4,322	58.81 30,315,669	58.96 30,392,992	0.64
26	アメリカ	株式	USドル	資本財	UNITED TECHNOLOGIES CORP	2,053	121.25 29,689,433	122.67 30,037,136	0.63
27	アメリカ	株式	USドル	食品・飲料・タバコ	COCA-COLA CO/THE	5,900	41.99 29,548,069	42.46 29,878,804	0.62
28	アメリカ	株式	USドル	食品・飲料・タバコ	PEPSICO INC	2,512	99.13 29,699,966	99.07 29,681,990	0.62
29	アメリカ	株式	USドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	JOHNSON & JOHNSON	2,400	99.62 28,516,025	102.80 29,426,294	0.62
30	アメリカ	株式	USドル	ソフトウェア・サービス	MASTERCARD INC-CLASS A	2,684	87.14 27,895,316	91.26 29,214,213	0.61

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別及び業種別比率

（平成27年2月27日現在）

種類	業 種	投 資 比 率（％）
株式	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.10
株式	食品・飲料・タバコ	6.75
株式	資本財	6.52
株式	エネルギー	6.18
株式	公益事業	6.13
株式	ソフトウェア・サービス	5.80
株式	保険	5.80
株式	銀行	5.66
株式	各種金融	4.31
株式	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.15
株式	ヘルスケア機器・サービス	4.10
株式	電気通信サービス	3.82
株式	小売	3.66
株式	メディア	3.52
株式	素材	3.47
株式	自動車・自動車部品	3.01
株式	家庭用品・パーソナル用品	2.44
株式	半導体・半導体製造装置	2.11
株式	食品・生活必需品小売り	2.02
株式	運輸	1.96
株式	耐久消費財・アパレル	1.66
株式	消費者サービス	1.35
株式	商業・専門サービス	0.82
株式	不動産	0.08
	小計	94.41
新株予約権証券	不動産	0.00
投資証券	不動産	4.00
	合計	98.41

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各業種の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

外国債券マザーファンド

（１）投資状況

親投資信託資産の種類別、地域別の投資状況

（平成27年2月27日現在）

資産の種類	国名	時価合計（百万円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	1,163	42.85
	フランス	329	12.11

	イギリス	257	9.48
	イタリア	251	9.26
	オランダ	139	5.11
	ベルギー	133	4.90
	スペイン	131	4.82
	ドイツ	61	2.26
	カナダ	60	2.21
	メキシコ	51	1.88
	シンガポール	22	0.81
	スウェーデン	21	0.77
	オーストラリア	17	0.64
	アイルランド	16	0.60
	ノルウェー	13	0.46
	南アフリカ	8	0.30
	小計	2,672	98.47
コール・ローン、その他の資産（負債差引後）	日本	42	1.53
合計（純資産総額）	-	2,714	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。）

（2）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a．評価額上位銘柄（30銘柄）

（平成27年2月27日現在）

	国名	通貨	種類	銘柄名	券面総額 (現地通貨)	簿価単価 (現地通貨) 簿価金額 (円)	時価単価 (現地通貨) 時価金額 (円)	投資 比率 (%)	クー ポン (%)	償還日
1	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	2,100,000	105.17 263,430,623	105.15 263,381,704	9.71	3.13	H29.4.30
2	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	1,200,000	104.20 149,145,270	104.08 148,977,547	5.49	4.50	H28.2.15
3	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	1,000,000	105.13 125,396,562	105.12 125,387,244	4.62	2.63	H32.11.15
4	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	1,000,000	100.93 120,383,496	100.89 120,341,565	4.43	1.38	H27.11.30
5	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	700,000	137.99 115,214,820	138.35 115,508,335	4.26	4.63	H52.2.15
6	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	900,000	98.79 106,051,528	98.77 106,026,370	3.91	1.13	H31.5.31
7	フランス	ユーロ	国債証券	FRANCE O.A.T.	700,000	112.98 105,698,439	112.95 105,675,050	3.89	4.00	H30.4.25
8	フランス	ユーロ	国債証券	FRANCE O.A.T.	400,000	161.55 86,367,303	162.05 86,631,930	3.19	5.50	H41.4.25
9	アメリカ	USD	国債証券	US TREASURY N/B	500,000	137.82 82,193,801	138.05 82,326,582	3.03	5.50	H40.8.15
10	イギリス	イギリスポンド	国債証券	TREASURY	320,000	131.93 77,660,930	132.22 77,829,980	2.87	4.25	H48.3.7
11	イギリス	イギリスポンド	国債証券	TREASURY	350,000	117.71 75,784,640	117.05 75,359,716	2.78	4.00	H34.3.7

12	スペイン	ユーロ	国債証券	SPANISH GOV'T	500,000	112.04 74,870,730	112.60 75,244,950	2.77	4.10	H30.7.30
13	イタリア	ユーロ	国債証券	BTPS	500,000	111.81 74,717,032	112.03 74,864,047	2.76	5.25	H29.8.1
14	アメリカ	USDドル	国債証券	US TREASURY N/B	500,000	110.18 65,707,519	110.15 65,691,679	2.42	3.63	H32.2.15
15	イタリア	ユーロ	国債証券	BTPS	300,000	152.30 61,064,685	157.20 63,029,340	2.32	6.00	H43.5.1
16	オランダ	ユーロ	国債証券	NETHERLANDS GOVT	400,000	111.65 59,688,090	112.18 59,971,428	2.21	1.75	H35.7.15
17	イタリア	ユーロ	国債証券	BTPS	300,000	131.36 52,668,792	134.01 53,731,309	1.98	5.00	H37.3.1
18	イギリス	イギリスポンド	国債証券	TREASURY	200,000	143.27 52,709,033	142.79 52,532,441	1.94	4.50	H54.12.7
19	イギリス	イギリスポンド	国債証券	TREASURY	200,000	140.77 51,789,283	139.90 51,469,210	1.90	8.00	H33.6.7
20	フランス	ユーロ	国債証券	FRANCE O.A.T.	230,000	165.23 50,792,412	164.62 50,604,901	1.86	4.75	H47.4.25
21	イタリア	ユーロ	国債証券	BTPS	270,000	115.84 41,803,247	116.82 42,156,885	1.55	3.75	H33.3.1
22	ベルギー	ユーロ	国債証券	BELGIAN 0326	200,000	146.85 39,255,678	147.99 39,557,727	1.46	4.00	H44.3.28
23	ベルギー	ユーロ	国債証券	BELGIAN 0315	250,000	116.50 38,927,233	116.45 38,908,856	1.43	4.00	H31.3.28
24	アメリカ	USDドル	国債証券	US TREASURY N/B	300,000	108.55 38,840,554	108.29 38,748,306	1.43	7.25	H28.5.15
25	スペイン	ユーロ	国債証券	SPANISH GOV'T	200,000	130.30 34,830,526	132.00 35,283,600	1.30	5.40	H35.1.31
26	メキシコ	メキシコペソ	国債証券	MEXICAN BONOS	3,600,000	113.26 32,457,218	113.33 32,475,844	1.20	8.00	H32.6.11
27	フランス	ユーロ	国債証券	FRANCE O.A.T.	200,000	119.20 31,862,160	119.95 32,063,971	1.18	3.00	H34.4.25
28	フランス	ユーロ	国債証券	FRANCE O.A.T.	200,000	117.83 31,497,295	117.88 31,510,660	1.16	4.25	H31.4.25
29	オランダ	ユーロ	国債証券	NETHERLANDS GOVT	200,000	117.72 31,467,892	117.79 31,485,267	1.16	4.00	H31.7.15
30	ベルギー	ユーロ	国債証券	BELGIAN 0324	150,000	140.59 28,184,780	141.95 28,458,428	1.05	4.50	H38.3.28

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価額比率です。

b. 投資有価証券の種類別比率

(平成27年2月27日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	98.47
合計	98.47

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する各種類の評価額比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

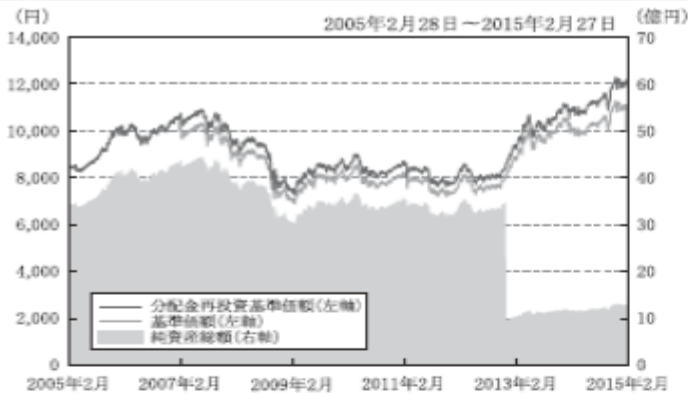
該当事項はありません。

(参考) 運用実績

青のライフキャンパス・ファンド（標準型）

2015年2月27日現在

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額は収益分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したものです。
 ※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。

分配の推移(1万口当たり、税引き前)

2015年2月	1,100円
2014年2月	310円
2013年2月	0円
2012年2月	0円
2011年2月	0円
設定来累計	1,980円

主要な資産の状況

●組入上位銘柄

国内株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 84)	業種	比率	
	トヨタ自動車	輸送用機器	2.0%	
	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.3%	
	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	0.9%	
国内債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 40)	償還年月日	比率	
	297 10年国債	2018/12/20	5.4%	
	305 10年国債	2019/12/20	4.4%	
	113 20年国債	2029/9/20	2.9%	
外国株式マザーファンド	銘柄名(銘柄数 株式 416 投資信託証券 18)	国	業種	比率
	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.2%
	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・医療機器	0.2%
外国債券マザーファンド	銘柄名(銘柄数 57)	国	償還年月日	比率
	US TREASURY N/B 3.125	アメリカ	2017/4/30	1.2%
	US TREASURY N/B 4.5	アメリカ	2016/2/15	0.7%

※組入上位銘柄の比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

●投資比率

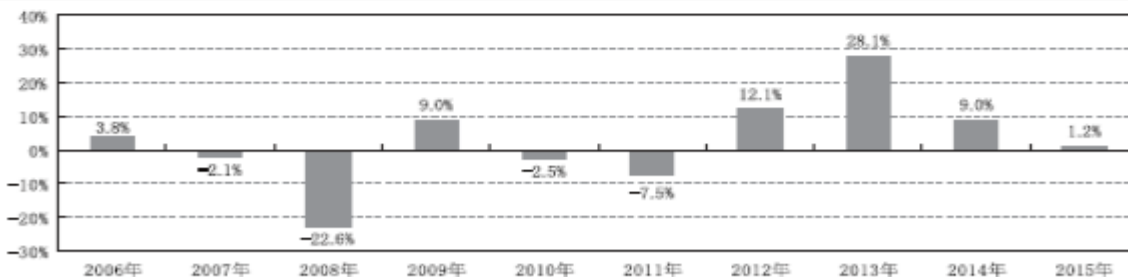
国内株式	34.7%
国内債券	33.3%
外国株式	17.4%
外国債券	11.8%
コール・ローン、その他	2.8%
合計	100.0%

※投資比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

※外国株式には、投資信託証券を含みます。

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

年間収益率の推移（暦年ベース）



※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。

※2015年は年初から2月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）

2015年2月27日現在

基準価額・純資産の推移



※分配金再投資基準価額は収益分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したものです。
 ※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。

分配の推移(1万口当たり、税引き前)

2015年2月	1,090円
2014年2月	0円
2013年2月	0円
2012年2月	0円
2011年2月	0円
設定来累計	1,560円

主要な資産の状況

●組入上位銘柄

銘柄名(銘柄数)	業種	比率	
国内株式マザーファンド (銘柄数 84)			
トヨタ自動車	輸送用機器	2.7%	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.7%	
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.2%	
日本電産	電気機器	1.1%	
国内債券マザーファンド (銘柄数 40)			
297 10年国債	償還年月日	比率	
	2018/12/20	3.0%	
305 10年国債	償還年月日	比率	
	2019/12/20	2.5%	
外国株式マザーファンド (銘柄数 株式 416 投資信託証券 18)			
銘柄名	国	業種	比率
NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.2%
NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品	0.2%
外国債券マザーファンド (銘柄数 57)			
銘柄名	国	償還年月日	比率
US TREASURY N/B 3.125	アメリカ	2017/4/30	1.3%
US TREASURY N/B 4.5	アメリカ	2016/2/15	0.8%

※組入上位銘柄の比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

●投資比率

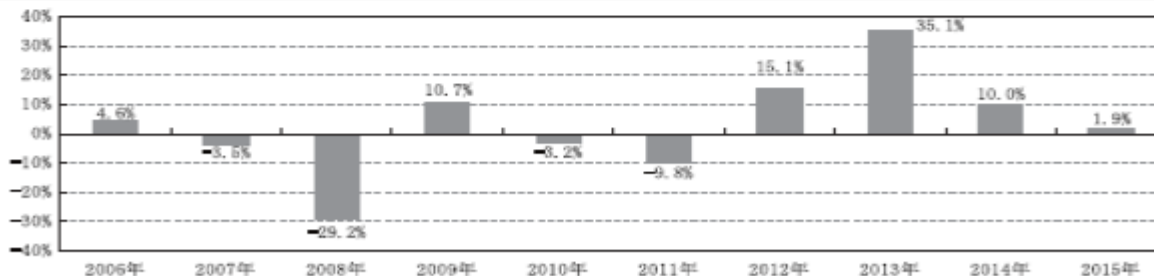
国内株式	45.4%
国内債券	18.4%
外国株式	19.3%
外国債券	13.7%
コール・ローン・その他	3.2%
合計	100.0%

※投資比率はマザーファンドへの投資を通じた実質組入比率です。

※外国株式には、投資信託証券を含みます。

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

年間収益率の推移（暦年ベース）



※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。
 ※2015年は年初から2月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

ファンドの購入申込は、販売会社において取引口座を開設のうえ行うものとします。購入申込は、毎営業日に販売会社で受付けます。購入申込の受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により受付時間の変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

申込方法には、収益の分配時に収益分配金を受け取る「一般コース」と、収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動継続投資コース」があります。販売会社によりお取扱いが可能なコース等が異なる場合がありますのでご注意ください。

「自動継続投資コース」を選択された場合には、販売会社との間で「自動継続投資契約」を締結していただきます。

これと異なる名称で同一の権利義務関係を規定した契約を含むものとします。

受益権の購入価額（発行価格）は、購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。購入価額に申込口数を乗じて得た金額が申込金額となります。

ファンドの購入申込者は販売会社に、購入申込と同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社（委託会社の指定する口座管理機関を含みます。）は、当該購入申込の代金の支払と引き換えに、当該口座に当該購入申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

申込手数料につきましては、前述の「第1ファンドの状況 4 手数料等及び税金（1）申込手数料」をご参照ください。

購入申込者は、購入代金を払込期日までにお申込の販売会社に支払うものとします。払込期日につきましては、販売会社までお問い合わせください。

金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入申込の受付を中止することおよびすでに受付けた購入申込の受付を取消すことがあります。

2【換金（解約）手続等】

受益者は、販売会社が定める単位をもって委託会社に換金申込を行うことができます。換金申込の受付は、原則として営業日の午後3時までとし、当該受付時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもあります。また、販売会社により受付時間が変更になることもありますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

委託会社は、換金申込を受付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

ファンドの換金申込を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

換金価額（解約価額）は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

換金申込をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとし、

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金申込の受付を中止することおよびすでに受付けた換金申込の受付を取消することができます。なお、換金申込の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った前日および当日の換金申込を撤回できます。ただし、受益者がその換金申込を撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金申込を受付けたものとして の規定に準じて計算された価額とします。

換金代金は、受益者の請求を受付けた日から起算して、原則として5営業日目から販売会社において支払います。ただし、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、上記原則による支払開始日が遅延する場合があります。

換金価額につきましては、委託会社または販売会社にお問い合わせください。

販売会社により買取請求の取扱いを行う場合がありますが、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

基準価額とは信託財産の純資産総額を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

ファンドおよびマザーファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

ファンドの主な投資対象

マザーファンド：原則としてファンドの基準価額計算日の基準価額で評価します。

マザーファンドの主な投資対象

- ・国内株式：原則として基準価額計算日の金融商品取引所の終値で評価します。
- ・外国株式：原則として金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場で評価します。
- ・公 社 債：a . 上場銘柄

原則として、金融商品取引所の計算日における最終相場により評価します。

計算日に最終相場がない場合には計算日の気配相場により評価します。

b . 非上場銘柄

原則として、以下のいずれかから入手した価額で評価します。

- ・日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）
- ・金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場は除く。）
- ・価格情報会社の提供する価額

基準価額は毎営業日算出され、販売会社にお問い合わせいただければ、お知らせいたします。また、基準価額は原則として翌日の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

基準価額につきましては、下記においてもご照会いただけます。

T & D アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-3434-5544（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

(2)【保管】

ありません。

(3)【信託期間】

ファンドの信託期間は原則無期限ですが、後述の「(5)その他 信託の終了」の規定により信託を終了させる場合があります。

(4)【計算期間】

ファンドの計算期間は、毎年2月16日から翌年2月15日までとします。該当日が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌日以降の最初の営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

(5)【その他】

信託の終了

a. ファンドの繰上償還

- (1) 委託会社は、信託契約の一部を解約することにより、受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合には、受託会社と合意のうえ、あらかじめ、監督官庁に届け出ることにより、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
- (2) 委託会社は、信託期間中において、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- (3) 委託会社は、(1)、(2)の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知れている受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対し書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- (4) (3)の公告および書面には、受益者で異議のある者は、一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- (5) (4)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、(1)、(2)の信託契約の解約をしません。
- (6) 委託会社は、この信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知れている受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- (7) (4)から(6)までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、(4)の一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

b. 委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

c. 委託会社が、監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。なお、監督官庁が、この信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、後述の「信託約款の変更d」に該当する場合を除き、当該委託会社と受託会社との間において存続します。

d. 受託会社が辞任する場合または受託会社を解任する場合、委託会社は、後述の「信託約款の変更」の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

- a. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
- b. 委託会社は、前項の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款に係る知れている受益者に

対して交付します。ただし、この信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

- c. 上記bの公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- d. 上記cの一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、aの信託約款の変更をしません。
- e. 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知れている受益者に対して交付します。ただし、全ての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- f. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、前述の規定にしたがいます。

デリバティブ取引の管理

デリバティブ取引等については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則および委託会社が定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産を超えないこととします。

関係法人との契約の更改に関する手続

委託会社が販売会社と締結している「投資信託受益権の取扱に関する契約」は、契約満了日の3ヵ月前までに当事者から別段の意思表示のない限り、1年毎に自動更新されます。

公告

委託会社が投資者に対してする公告は、原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ（<http://www.tdasstet.co.jp/>）に掲載します。ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

運用に係る報告等開示方法

毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページにおいて開示します。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。なお、受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。

（1）収益分配金の請求権

受益者は、ファンドの収益分配金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において換金が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として購入申込者としてします。）に、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払を開始します。収益分配金の支払は、販売会社の営業所等にて行うものとします。ただし、受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払を請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

上記に関わらず自動継続投資コースを選択した受益者に対しては、分配金は税引後無手数料で再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（2）償還金の請求権

受益者は、ファンドの償還金を自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において換金が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として購入申込者としてします。）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託

の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

償還金は、原則として信託終了日から起算して5営業日目までに支払を開始します。償還金の支払は、販売会社の営業所等において行います。ただし、受益者が償還金について支払開始日から10年間その支払を請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

（３）換金（解約）請求権

受益者は、受益権の換金申込を販売会社を通じて委託会社に申込することができます。権利行使の方法等については、前述の「２換金（解約）手続等」をご参照ください。

（４）帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

1．当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しており、金額は円単位で表示しております。

2．当ファンドは、第15期計算期間（平成26年2月18日から平成27年2月16日まで）の財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【青のライフキャンパス・ファンド（標準型）】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第14期 (平成26年2月17日現在)	第15期 (平成27年2月16日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	70,258,808	146,546,709
親投資信託受益証券	1,091,630,825	1,153,597,653
未収利息	57	40
流動資産合計	1,161,889,690	1,300,144,402
資産合計		
	1,161,889,690	1,300,144,402
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	34,937,395	128,055,825
未払解約金	-	1,003,172
未払受託者報酬	491,673	542,118
未払委託者報酬	6,883,334	7,589,562
その他未払費用	49,110	54,155
流動負債合計	42,361,512	137,244,832
負債合計		
	42,361,512	137,244,832
純資産の部		
元本等		
元本	1,127,012,759	1,164,143,870
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	7,484,581	1,244,300
(分配準備積立金)	2,176,099	7,856,217
元本等合計	1,119,528,178	1,162,899,570
純資産合計		
	1,119,528,178	1,162,899,570
負債純資産合計		
	1,161,889,690	1,300,144,402

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第14期 (自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日)	第15期 (自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日)
営業収益		
受取利息	9,234	4,153
有価証券売買等損益	184,645,464	149,966,828
営業収益合計	184,654,698	149,970,981
営業費用		
受託者報酬	948,841	1,039,775
委託者報酬	13,283,638	14,556,711
その他費用	94,762	103,854
営業費用合計	14,327,241	15,700,340
営業利益	170,327,457	134,270,641
経常利益	170,327,457	134,270,641
当期純利益	170,327,457	134,270,641
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	5,598,608	517,709
期首剰余金又は期首欠損金 ()	142,415,455	7,484,581
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,405,988	543,174
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	5,405,988	58,638
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	484,536
剰余金減少額又は欠損金増加額	266,568	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	266,568	-
分配金	34,937,395	128,055,825
期末剰余金又は期末欠損金 ()	7,484,581	1,244,300

（ 3 ）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 その他	当ファンドの前計算期間の期末が休日のため、当計算期間は、平成26年2月18日からとなっており、また、当計算期間の期末が休日のため、平成27年2月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第14期 （平成26年2月17日現在）	第15期 （平成27年2月16日現在）
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,127,012,759口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,164,143,870口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 7,484,581円	2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 1,244,300円
3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9934円 （1万口当たり純資産額 9,934円）	3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9989円 （1万口当たり純資産額 9,989円）

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

期 別	第14期 （自平成25年2月16日 至平成26年2月17日）	第15期 （自平成26年2月18日 至平成27年2月16日）
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後配当等収益（7,796円）、費用控除後有価証券売買等損益（28,851,829円）、収益調整金（806,941円）、及び分配準備積立金（8,253,869円）より、分配対象収益は37,920,435円（1万口当たり336円）であり、うち34,937,395円（1万口当たり310円）を分配金額としております。	計算期間末における費用控除後配当等収益（4,152円）、費用控除後有価証券売買等損益（133,748,780円）、収益調整金（922,213円）、及び分配準備積立金（2,159,110円）より、分配対象収益は136,834,255円（1万口当たり1,175円）であり、うち128,055,825円（1万口当たり1,100円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	第14期 （自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日）	第15期 （自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日）
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であります。 有価証券等の金融商品に対して、信託約款及び委託会社で定めた投資ガイドラインや運用計画書等に従い、投資として運用することを目的としております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	金融商品の内容は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務となります。有価証券の詳細については、（その他の注記）2 有価証券関係に記載の通りです。 有価証券に係るリスクとしては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、流動性リスクなどがあります。	同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用部門と独立した運用審査委員会を設け、パフォーマンスの分析・評価及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 価格変動リスク等の市場リスクに関しては、パフォーマンスの実績等の状況を常時分析・把握し、投資方針に従っているかを管理しております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	同左
4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第14期 (平成26年2月17日現在)	第15期 (平成27年2月16日現在)
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第14期 (自平成25年2月16日 至平成26年2月17日)	第15期 (自平成26年2月18日 至平成27年2月16日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

項 目	第14期 (自平成25年2月16日 至平成26年2月17日)	第15期 (自平成26年2月18日 至平成27年2月16日)
期首元本額	1,158,548,079 円	1,127,012,759 円
期中追加設定元本額	12,664,726 円	46,233,343 円
期中一部解約元本額	44,200,046 円	9,102,232 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

第14期（自平成25年2月16日 至平成26年2月17日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	165,717,715 円
合計	165,717,715 円

第15期（自平成26年2月18日 至平成27年2月16日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	131,820,113 円
合計	131,820,113 円

3 デリバティブ取引関係

第14期（自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日）
該当事項はありません。

第15期（自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日）
該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

有価証券明細表

a . 株式

該当事項はありません。

b . 株式以外の有価証券

（平成27年2月16日現在）

種類	銘柄	券面総額（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	国内株式マザーファンド	505,667,114	415,658,367	
	国内債券マザーファンド	293,830,277	392,733,548	
	外国株式マザーファンド	119,982,551	210,353,408	
	外国債券マザーファンド	49,149,809	134,852,330	
合計		968,629,751	1,153,597,653	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第14期 （平成26年2月17日現在）	第15期 （平成27年2月16日現在）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	27,767,505	137,518,262
親投資信託受益証券	1,091,472,156	1,136,555,104
未収利息	22	37
流動資産合計	1,119,239,683	1,274,073,403
資産合計	1,119,239,683	1,274,073,403
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	-	124,489,562
未払受託者報酬	468,016	527,590
未払委託者報酬	6,552,132	7,386,196
その他未払費用	46,738	52,699
流動負債合計	7,066,886	132,456,047
負債合計	7,066,886	132,456,047
純資産の部		
元本等		
元本	1,144,393,402	1,142,106,081
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	32,220,605	488,725
（分配準備積立金）	84,403,351	82,112,585
元本等合計	1,112,172,797	1,141,617,356
純資産合計	1,112,172,797	1,141,617,356
負債純資産合計	1,119,239,683	1,274,073,403

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第14期 (自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日)	第15期 (自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日)
営業収益		
受取利息	9,719	3,838
有価証券売買等損益	203,660,051	171,082,948
営業収益合計	203,669,770	171,086,786
営業費用		
受託者報酬	892,766	1,007,149
委託者報酬	12,498,518	14,100,025
その他費用	89,153	100,591
営業費用合計	13,480,437	15,207,765
営業利益	190,189,333	155,879,021
経常利益	190,189,333	155,879,021
当期純利益	190,189,333	155,879,021
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	2,251,505	971,147
期首剰余金又は期首欠損金 ()	223,222,267	32,220,605
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,139,617	1,313,568
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,139,617	611,198
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	702,370
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,075,783	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,075,783	-
分配金	-	124,489,562
期末剰余金又は期末欠損金 ()	32,220,605	488,725

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 その他	当ファンドの前計算期間の期末が休日のため、当計算期間は、平成26年2月18日からとなっており、また、当計算期間の期末が休日のため、平成27年2月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第14期 （平成26年2月17日現在）	第15期 （平成27年2月16日現在）
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,144,393,402口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,142,106,081口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 32,220,605円	2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 488,725円
3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9718円 （1万口当たり純資産額 9,718円）	3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9996円 （1万口当たり純資産額 9,996円）

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

期別	第14期 （自平成25年2月16日 至平成26年2月17日）	第15期 （自平成26年2月18日 至平成27年2月16日）
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後配当等収益（9,716円）、費用控除後有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（7,386,301円）、及び分配準備積立金（84,393,635円）より、分配対象収益は91,789,652円（1万口当たり802円）となりましたが、当期の分配は見送りとさせていただきます。	計算期間末における費用控除後配当等収益（3,838円）、費用控除後有価証券売買等損益（123,798,946円）、収益調整金（8,806,890円）、及び分配準備積立金（82,799,363円）より、分配対象収益は215,409,037円（1万口当たり1,886円）であり、うち124,489,562円（1万口当たり1,090円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	第14期 （自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日）	第15期 （自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日）
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であります。 有価証券等の金融商品に対して、信託約款及び委託会社で定めた投資ガイドラインや運用計画書等に従い、投資として運用することを目的としております。	同左
2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	金融商品の内容は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務となります。有価証券の詳細については、（その他の注記）2 有価証券関係に記載の通りです。 有価証券に係るリスクとしては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスク、流動性リスクなどがあります。	同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用部門と独立した運用審査委員会を設け、パフォーマンスの分析・評価及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 価格変動リスク等の市場リスクに関しては、パフォーマンスの実績等の状況を常時分析・把握し、投資方針に従っているかを管理しております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。	同左
4 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれることがあります。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第14期 (平成26年2月17日現在)	第15期 (平成27年2月16日現在)
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	証券投資信託では、金融商品は原則として時価評価されるため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	親投資信託受益証券については、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）の1 運用資産の評価基準及び評価方法に記載の通りです。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務については、時価が帳簿価額と近似しているため帳簿価額を時価としております。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第14期 (自平成25年2月16日 至平成26年2月17日)	第15期 (自平成26年2月18日 至平成27年2月16日)
該当事項はありません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

項 目	第14期 (自平成25年2月16日 至平成26年2月17日)	第15期 (自平成26年2月18日 至平成27年2月16日)
期首元本額	1,151,777,365 円	1,144,393,402 円
期中追加設定元本額	14,030,315 円	19,585,121 円
期中一部解約元本額	21,414,278 円	21,872,442 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

第14期（自平成25年2月16日 至平成26年2月17日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	192,616,926 円
合計	192,616,926 円

第15期（自平成26年2月18日 至平成27年2月16日）

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額
親投資信託受益証券	152,722,474 円
合計	152,722,474 円

3 デリバティブ取引関係

第14期（自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日）

該当事項はありません。

第15期（自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

有価証券明細表

a．株式

該当事項はありません。

b．株式以外の有価証券

（平成27年2月16日現在）

種類	銘柄	券面総額（口）	評価額（円）	備考
親投資信託受益証券	国内株式マザーファンド	653,893,116	537,500,141	
	国内債券マザーファンド	161,456,623	215,802,922	
	外国株式マザーファンド	129,304,930	226,697,403	
	外国債券マザーファンド	57,059,678	156,554,638	
合計		1,001,714,347	1,136,555,104	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）マザーファンドの状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

当ファンドは「国内株式マザーファンド」、「国内債券マザーファンド」、「外国株式マザーファンド」、及び「外国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同マザーファンド受益証券です。

（１）貸借対照表

国内株式マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（平成26年2月17日現在）	（平成27年2月16日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		125,748,852	155,077,632
株式		8,207,780,000	8,980,969,490
未収入金		39,774,553	136,442,210
未収配当金		7,784,050	12,369,400
未収利息		103	42
流動資産合計		8,381,087,558	9,284,858,774
資産合計		8,381,087,558	9,284,858,774
負債の部			
流動負債			
未払金		39,308,403	136,155,400
流動負債合計		39,308,403	136,155,400
負債合計		39,308,403	136,155,400
純資産の部			
元本等			
元本		11,917,179,820	11,129,724,854
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		3,575,400,665	1,981,021,480
元本等合計		8,341,779,155	9,148,703,374
純資産合計		8,341,779,155	9,148,703,374
負債純資産合計		8,381,087,558	9,284,858,774

国内債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（平成26年2月17日現在）	（平成27年2月16日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		47,365,241	77,463,237
国債証券		7,938,338,610	8,447,144,590
地方債証券		104,567,000	308,190,000
特殊債券		949,502,805	612,406,664

社債券	1,116,374,385	917,832,000
未収利息	27,240,521	28,543,368
前払費用	6,596,835	6,850,865
流動資産合計	10,189,985,397	10,398,430,724
資産合計	10,189,985,397	10,398,430,724
負債の部		
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	7,777,820,683	7,779,565,650
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2,412,164,714	2,618,865,074
元本等合計	10,189,985,397	10,398,430,724
純資産合計	10,189,985,397	10,398,430,724
負債純資産合計	10,189,985,397	10,398,430,724

外国株式マザーファンド

(単位：円)

科 目	対象年月日	(平成26年2月17日現在)	(平成27年2月16日現在)
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		18,494,836	8,736,749
コール・ローン		273,322,771	34,976,130
株式		5,222,949,153	4,452,441,230
新株予約権証券		-	62,945
投資証券		66,664,673	192,989,012
未収入金		36,036	-
未収配当金		7,422,271	7,203,243
未収利息		224	9
流動資産合計		5,588,889,964	4,696,409,318
資産合計		5,588,889,964	4,696,409,318
負債の部			
流動負債			
未払金		-	2,991,339
流動負債合計		-	2,991,339
負債合計		-	2,991,339
純資産の部			
元本等			
元本		4,033,911,566	2,677,073,720
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,554,978,398	2,016,344,259
元本等合計		5,588,889,964	4,693,417,979
純資産合計		5,588,889,964	4,693,417,979
負債純資産合計		5,588,889,964	4,696,409,318

外国債券マザーファンド

（単位：円）

科 目	対象年月日	（平成26年2月17日現在）	（平成27年2月16日現在）
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		2,203,959	-
コール・ローン		28,020,894	14,513,953
国債証券		2,372,117,128	2,618,975,826
未収利息		32,613,693	29,830,271
前払費用		3,225,272	7,699,607
流動資産合計		2,438,180,946	2,671,019,657
資産合計		2,438,180,946	2,671,019,657
負債の部			
負債合計		-	-
純資産の部			
元本等			
元本		1,027,236,554	973,511,238
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		1,410,944,392	1,697,508,419
元本等合計		2,438,180,946	2,671,019,657
純資産合計		2,438,180,946	2,671,019,657
負債純資産合計		2,438,180,946	2,671,019,657

（2）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 運用資産の評価基準 及び評価方法	<p>(1)株式、新株予約権証券、投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場又は気配相場）で評価しております。</p> <p>(2)国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として、市場価額のあるものについてはその終値（終値のないものについてはそれに準ずる価額）、金融商品取引所に上場されていないものについては、以下のいずれかから入手した価額で評価しております。 日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）値段 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない） 価額情報会社の提供する価額 なお、買付にかかる約定日から1年以内で償還を迎える公社債等（償還日の前年応答日が到来したものを含む。）で価格変動性が限定的であり、償却原価法による評価方法が合理的かつ受益者の利害を害しないと投資信託委託会社が判断した場合には、当該方式によって評価しております。</p>
2 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。

3 費用・収益の計上基準	<p>(1)受取配当金 国内有価証券については、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 外国有価証券については、原則として配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には、入金日基準で計上しております。</p> <p>(2)有価証券売買等損益、為替差損益 約定日基準で計上しております。</p>
--------------	--

(貸借対照表に関する注記)

(平成26年2月17日現在)	(平成27年2月16日現在)
<p>1 計算期間の末日における受益権の総数</p> <p>国内株式マザーファンド 11,917,179,820 円</p> <p>国内債券マザーファンド 7,777,820,683 円</p> <p>外国株式マザーファンド 4,033,911,566 円</p> <p>外国債券マザーファンド 1,027,236,554 円</p>	<p>1 計算期間の末日における受益権の総数</p> <p>国内株式マザーファンド 11,129,724,854 円</p> <p>国内債券マザーファンド 7,779,565,650 円</p> <p>外国株式マザーファンド 2,677,073,720 円</p> <p>外国債券マザーファンド 973,511,238 円</p>
<p>2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額</p> <p>元本の欠損</p> <p>国内株式マザーファンド 3,575,400,665 円</p>	<p>2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額</p> <p>元本の欠損</p> <p>国内株式マザーファンド 1,981,021,480 円</p>
<p>3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額</p> <p>国内株式マザーファンド 1口当たり純資産額 0.7000円 (1万口当たり純資産額 7,000円)</p> <p>国内債券マザーファンド 1口当たり純資産額 1.3101円 (1万口当たり純資産額 13,101円)</p> <p>外国株式マザーファンド 1口当たり純資産額 1.3855 円 (1万口当たり純資産額 13,855 円)</p> <p>外国債券マザーファンド 1口当たり純資産額 2.3735 円 (1万口当たり純資産額 23,735 円)</p>	<p>3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額</p> <p>国内株式マザーファンド 1口当たり純資産額 0.8220円 (1万口当たり純資産額 8,220円)</p> <p>国内債券マザーファンド 1口当たり純資産額 1.3366円 (1万口当たり純資産額 13,366円)</p> <p>外国株式マザーファンド 1口当たり純資産額 1.7532 円 (1万口当たり純資産額 17,532 円)</p> <p>外国債券マザーファンド 1口当たり純資産額 2.7437 円 (1万口当たり純資産額 27,437 円)</p>

(その他の注記)

1 元本の移動

項目	対象年月日 (平成26年2月17日現在)	(平成27年2月16日現在)
国内株式マザーファンド		
期首元本額	15,432,995,133 円	11,917,179,820 円
期中追加設定元本額	1,481,641,360 円	606,194,084 円
期中一部解約元本額	4,997,456,673 円	1,393,649,050 円
期末元本額	11,917,179,820 円	11,129,724,854 円
元本の内訳*		
青のライフキャンバス・ ファンド(標準型)	567,403,131 円	505,667,114 円
赤のライフキャンバス・ ファンド(積極型)	722,368,586 円	653,893,116 円
T & D 国内株式オープン S A (適格機関投資家専 用)	10,627,408,103 円	9,970,164,624 円
合計	11,917,179,820 円	11,129,724,854 円
国内債券マザーファンド		
期首元本額	11,546,522,019 円	7,777,820,683 円
期中追加設定元本額	1,171,053,233 円	946,123,637 円
期中一部解約元本額	4,939,754,569 円	944,378,670 円
期末元本額	7,777,820,683 円	7,779,565,650 円
元本の内訳*		
青のライフキャンバス・ ファンド(標準型)	270,725,851 円	293,830,277 円
赤のライフキャンバス・ ファンド(積極型)	161,456,623 円	161,456,623 円
T & D 国内債券オープン (非課税適格機関投資家 専用)	3,067,016,049 円	2,585,552,587 円
T & D 国内債券オープン S A (適格機関投資家専 用)	4,278,622,160 円	4,738,726,163 円
合計	7,777,820,683 円	7,779,565,650 円
外国株式マザーファンド		
期首元本額	6,090,088,641 円	4,033,911,566 円
期中追加設定元本額	253,979,956 円	21,909,652 円
期中一部解約元本額	2,310,157,031 円	1,378,747,498 円
期末元本額	4,033,911,566 円	2,677,073,720 円
元本の内訳*		
青のライフキャンバス・ ファンド(標準型)	151,646,514 円	119,982,551 円
赤のライフキャンバス・ ファンド(積極型)	163,010,682 円	129,304,930 円
T & D 外国株オープン (非課税適格機関投資家 専用)	1,364,321,475 円	426,227,487 円
T & D 外国株式オープン S A (適格機関投資家専 用)	2,354,932,895 円	2,001,558,752 円
合計	4,033,911,566 円	2,677,073,720 円
外国債券マザーファンド		
期首元本額	1,392,270,392 円	1,027,236,554 円
期中追加設定元本額	51,977,764 円	85,395,623 円
期中一部解約元本額	417,011,602 円	139,120,939 円

期末元本額	1,027,236,554 円	973,511,238 円
元本の内訳*		
青のライフキャンパス・ ファンド(標準型)	54,630,062 円	49,149,809 円
赤のライフキャンパス・ ファンド(積極型)	62,539,931 円	57,059,678 円
T & D 外国債券オープン (非課税適格機関投資家 専用)	68,687,265 円	115,042,990 円
T & D 外国債券オープン S A (適格機関投資家専 用)	841,379,296 円	752,258,761 円
合計	1,027,236,554 円	973,511,238 円

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 売買目的有価証券の貸借対照表計上額等

(自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に 含まれた評価差額	
株式	13,430,729,153 円	1,922,548,871 円	
内 国内株式マザーファンド	8,207,780,000 円	1,325,214,063 円	
内 外国株式マザーファンド	5,222,949,153 円	597,334,808 円	
国債証券	10,310,455,738 円	62,560,115 円	
内 国内債券マザーファンド	7,938,338,610 円	91,808,140 円	
内 外国債券マザーファンド	2,372,117,128 円	29,248,025 円	
地方債証券	内 国内債券マザーファンド	104,567,000 円	1,621,000 円
特殊債券	内 国内債券マザーファンド	949,502,805 円	2,720,723 円
社債券	内 国内債券マザーファンド	1,116,374,385 円	7,561,000 円
投資証券	内 外国株式マザーファンド	66,664,673 円	561,341 円
合計	25,978,293,754 円	1,993,208,368 円	

(自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に 含まれた評価差額	
株式	13,433,410,720 円	1,527,806,781 円	
内 国内株式マザーファンド	8,980,969,490 円	1,148,814,507 円	
内 外国株式マザーファンド	4,452,441,230 円	378,992,274 円	
国債証券	11,066,120,416 円	115,090,698 円	
内 国内債券マザーファンド	8,447,144,590 円	967,860 円	
内 外国債券マザーファンド	2,618,975,826 円	114,122,838 円	
地方債証券	内 国内債券マザーファンド	308,190,000 円	2,101,000 円
特殊債券	内 国内債券マザーファンド	612,406,664 円	1,185,660 円
社債券	内 国内債券マザーファンド	917,832,000 円	1,687,000 円
新株予約券証券	内 外国株式マザーファンド	62,945 円	48,085 円
投資証券	内 外国株式マザーファンド	192,989,012 円	19,948,064 円
合計	26,531,011,757 円	1,663,665,288 円	

3 デリバティブ取引関係

(自 平成25年2月16日 至 平成26年2月17日)

該当事項はありません。

(自 平成26年2月18日 至 平成27年2月16日)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

国内株式マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

（平成27年2月16日現在）

通貨 （日本円）	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
	大成建設	170,000	660.00	112,200,000	
	積水ハウス	58,700	1,566.50	91,953,550	
	江崎グリコ	25,500	4,580.00	116,790,000	
	アサヒグループホールディングス	17,500	3,640.00	63,700,000	
	不二製油	55,500	1,681.00	93,295,500	
	ニチレイ	223,000	577.00	128,671,000	
	日本たばこ産業	18,200	3,725.50	67,804,100	
	信越化学工業	8,200	8,020.00	65,764,000	
	エア・ウォーター	39,000	2,037.00	79,443,000	
	ダイセル	122,000	1,557.00	189,954,000	
	花王	25,100	5,083.00	127,583,300	
	D I C	325,000	326.00	105,950,000	
	メック	54,300	797.00	43,277,100	
	日東電工	12,600	7,495.00	94,437,000	
	ニフコ	39,000	3,945.00	153,855,000	
	アステラス製薬	104,800	1,812.00	189,897,600	
	J C R ファーマ	40,600	2,221.00	90,172,600	
	沢井製薬	18,500	7,470.00	138,195,000	
	ブリヂストン	35,800	4,601.00	164,715,800	
	日本特殊陶業	28,500	3,195.00	91,057,500	
	新日鐵住金	205,000	297.70	61,028,500	
	日立金属	26,000	1,797.00	46,722,000	
	横河ブリッジホールディングス	37,400	1,327.00	49,629,800	
	日本発條	55,200	1,206.00	66,571,200	
	クボタ	71,000	1,837.50	130,462,500	
	ダイキン工業	8,500	7,653.00	65,050,500	
	ダイフク	67,100	1,419.00	95,214,900	
	三菱重工業	86,000	635.10	54,618,600	
	I H I	200,000	518.00	103,600,000	
	ミネベア	23,000	1,657.00	38,111,000	
	日立製作所	110,000	773.90	85,129,000	
	日本電産	33,400	8,207.00	274,113,800	
	富士通	149,000	721.20	107,458,800	
	サンケン電気	152,000	864.00	131,328,000	
	キーエンス	1,600	59,870.00	95,792,000	
	ファナック	6,700	22,390.00	150,013,000	
	村田製作所	13,500	12,765.00	172,327,500	
	キヤノン	38,700	3,821.50	147,892,050	
	デンソー	20,100	5,514.00	110,831,400	
	いすゞ自動車	128,300	1,662.00	213,234,600	

	トヨタ自動車	68,100	7,829.00	533,154,900	
	タチエス	43,200	1,552.00	67,046,400	
	大同メタル工業	50,500	1,107.00	55,903,500	
	マツダ	12,700	2,315.50	29,406,850	
	本田技研工業	40,600	3,937.00	159,842,200	
	富士重工業	25,700	3,963.00	101,849,100	
	テルモ	37,700	3,090.00	116,493,000	
	シチズンホールディングス	53,500	852.00	45,582,000	
	東京瓦斯	97,000	719.20	69,762,400	
	東日本旅客鉄道	18,100	9,709.00	175,732,900	
	日本梱包運輸倉庫	29,400	1,878.00	55,213,200	
	日立物流	44,600	1,675.00	74,705,000	
	日本航空	34,400	3,725.00	128,140,000	
	ブロードリーフ	24,100	1,792.00	43,187,200	
	日本ユニシス	48,200	1,128.00	54,369,600	
	日本電信電話	16,800	7,324.00	123,043,200	
	K D D I	13,500	7,869.00	106,231,500	
	エヌ・ティ・ティ・データ	12,900	4,680.00	60,372,000	
	スクウェア・エニックス・ホールディングス	42,000	2,328.00	97,776,000	
	S C S K	16,000	3,065.00	49,040,000	
	ソフトバンク	27,500	7,097.00	195,167,500	
	三菱商事	32,300	2,293.00	74,063,900	
	マツモトキヨシホールディングス	36,400	3,840.00	139,776,000	
	三越伊勢丹ホールディングス	62,000	1,741.00	107,942,000	
	セブン&アイ・ホールディングス	28,500	4,516.50	128,720,250	
	良品計画	5,600	14,130.00	79,128,000	
	三菱UFJフィナンシャル・グループ	459,000	729.00	334,611,000	
	三井住友フィナンシャルグループ	51,000	4,440.00	226,440,000	
	横浜銀行	130,000	714.30	92,859,000	
	ほくほくフィナンシャルグループ	309,000	269.00	83,121,000	
	みずほフィナンシャルグループ	289,900	206.70	59,922,330	
	野村ホールディングス	148,100	679.60	100,648,760	
	第一生命保険	58,100	1,814.00	105,393,400	
	東京海上ホールディングス	30,600	4,201.00	128,550,600	
	日立キャピタル	16,400	2,565.00	42,066,000	
	三井不動産	23,000	3,306.00	76,038,000	
	三菱地所	30,000	2,688.50	80,655,000	
	レオパレス21	117,700	657.00	77,328,900	
	カカクコム	63,100	1,855.00	117,050,500	
	エイチ・アイ・エス	34,200	3,685.00	126,027,000	
	乃村工藝社	43,800	1,159.00	50,764,200	

合計		5,579,500		8,980,969,490	
----	--	-----------	--	---------------	--

b. 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

国内債券マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

該当事項はありません。

b. 株式以外の有価証券

(平成27年2月16日現在)

種類	銘柄	額面総額(円)	評価額(円)	備考
国債証券	第113回利付国債(5年)	114,000,000	114,872,100	
	第284回利付国債(10年)	190,000,000	195,802,600	
	第289回利付国債(10年)	103,000,000	107,213,730	
	第297回利付国債(10年)	1,598,000,000	1,677,692,260	
	第303回利付国債(10年)	175,000,000	185,132,500	
	第305回利付国債(10年)	1,314,000,000	1,387,202,940	
	第309回利付国債(10年)	21,000,000	22,067,220	
	第310回利付国債(10年)	387,000,000	405,444,420	
	第312回利付国債(10年)	111,000,000	117,809,850	
	第315回利付国債(10年)	10,000,000	10,658,800	
	第329回利付国債(10年)	2,000,000	2,076,240	
	第331回利付国債(10年)	300,000,000	306,249,000	
	第333回利付国債(10年)	1,053,000,000	1,072,396,260	
	第27回利付国債(30年)	34,000,000	41,123,340	
	第30回利付国債(30年)	187,000,000	219,883,950	
	第40回利付国債(30年)	74,000,000	78,835,900	
	第42回利付国債(30年)	352,000,000	366,252,480	
	第113回利付国債(20年)	258,000,000	302,401,800	
	第122回利付国債(20年)	363,000,000	408,770,670	
	第130回利付国債(20年)	357,000,000	399,047,460	
	第133回利付国債(20年)	14,000,000	15,613,780	
	第140回利付国債(20年)	115,000,000	125,722,600	
	第146回利付国債(20年)	756,000,000	819,042,840	
第148回利付国債(20年)	63,000,000	65,831,850		
地方債証券	平成18年度第2回大阪市公募公債	200,000,000	205,090,000	
	平成18年度第11回大阪市公募公債	100,000,000	103,100,000	
特殊債券	第3回貸付債権担保住宅金融公庫債券	127,080,000	132,990,490	

	第50回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	77,902,000	82,351,762	
	第81回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	95,433,000	97,194,693	
	第89回貸付債権担保住宅金融支援機構債券	98,752,000	99,461,039	
	い第725号農林債	100,000,000	100,217,680	
	第40回中日本高速道路株式会社社債	100,000,000	100,191,000	
社債券	第26回株式会社みずほコーポレート銀行無担保社債	100,000,000	100,489,000	
	第3回興銀リース株式会社無担保社債	100,000,000	100,121,000	
	第25回株式会社日産フィナンシャルサービス無担保社債	100,000,000	100,069,000	
	第22回三菱UFJリース株式会社無担保社債	100,000,000	100,077,000	
	第25回三菱UFJリース株式会社無担保社債	100,000,000	100,313,000	
	第458回関西電力株式会社社債	100,000,000	103,708,000	
	第417回九州電力株式会社社債	100,000,000	100,844,000	
	第425回九州電力株式会社社債	100,000,000	100,042,000	
	第8回電源開発株式会社無担保社債	100,000,000	112,169,000	
合計		9,750,167,000	10,285,573,254	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

外国株式マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

(平成27年2月16日現在)

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
USドル	ABBOTT LABORATORIES	4,993	46.09	230,127.37	
	AES CORP	2,304	11.86	27,325.44	
	INTL BUSINESS MACHINES CORP	1,442	160.40	231,296.80	
	ALLEGHANY CORP	135	475.43	64,183.05	
	ALLSTATE CORP	1,542	71.46	110,191.32	
	AMGEN INC	1,145	153.48	175,734.60	
	AMERICAN ELECTRIC POWER	2,500	57.83	144,575.00	
	ANALOG DEVICES INC	1,304	57.05	74,393.20	
	APACHE CORP	1,723	67.05	115,527.15	
	COMCAST CORP-CL A	4,400	59.46	261,646.00	
	APPLE INC	2,699	127.08	342,988.92	
	ARROW ELECTRONICS INC	174	61.98	10,784.52	
	AUTOMATIC DATA PROCESSING	2,526	88.75	224,182.50	
	AUTOZONE INC	109	618.50	67,416.50	

AVNET INC	70	45.30	3,171.00
BALL CORP	501	74.93	37,539.93
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	1,786	148.34	264,935.24
BAXTER INTERNATIONAL INC	2,226	70.39	156,688.14
BED BATH & BEYOND INC	500	77.91	38,955.00
BECTON DICKINSON AND CO	699	143.71	100,453.29
VERIZON COMMUNICATIONS INC	4,208	49.31	207,496.48
WR BERKLEY CORP	344	50.27	17,292.88
BEST BUY CO INC	1,218	39.11	47,635.98
YUM! BRANDS INC	1,729	74.69	129,139.01
C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	578	72.58	41,951.24
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	3,800	60.04	228,152.00
SEMPRA ENERGY	1,200	105.56	126,672.00
AMPHENOL CORP-CL A	1,200	56.39	67,668.00
CSX CORP	1,180	36.08	42,574.40
CARDINAL HEALTH INC	2,100	86.08	180,768.00
CENTURYLINK INC	3,885	39.46	153,302.10
JPMORGAN CHASE & CO	4,356	59.67	259,922.52
CHUBB CORP	1,383	102.06	141,148.98
CIGNA CORP	519	114.47	59,409.93
CINCINNATI FINANCIAL CORP	465	52.46	24,393.90
CISCO SYSTEMS INC	9,740	29.43	286,648.20
CLOROX COMPANY	383	109.00	41,747.00
COCA-COLA CO/THE	5,900	41.99	247,741.00
COLGATE-PALMOLIVE CO	2,916	70.08	204,353.28
CA INC	1,360	32.63	44,376.80
CONAGRA FOODS INC	1,200	34.83	41,796.00
CONSOLIDATED EDISON INC	900	63.92	57,528.00
L-3 COMMUNICATIONS HOLDINGS	236	129.45	30,550.20
DANAHER CORP	2,403	86.81	208,604.43
TARGET CORP	2,152	76.12	163,810.24
DIAMOND OFFSHORE DRILLING	283	35.21	9,964.43
DEERE & CO	1,475	90.04	132,809.00
MORGAN STANLEY	5,900	36.78	217,002.00
REPUBLIC SERVICES INC	1,154	39.34	45,398.36
WALT DISNEY CO/THE	2,653	104.17	276,363.01
DTE ENERGY COMPANY	533	81.56	43,471.48
BANK OF AMERICA CORP	14,600	16.61	242,506.00
CITIGROUP INC	4,613	51.20	236,185.60
ECOLAB INC	1,143	111.62	127,581.66
EXXON MOBIL CORP	3,031	93.37	283,004.47
NEXTERA ENERGY INC	1,700	103.62	176,154.00
TRW AUTOMOTIVE HOLDINGS CORP	368	103.60	38,124.80
FISERV INC	932	78.70	73,348.40
MACY'S INC	958	64.32	61,618.56
FLEXTRONICS INTL LTD	2,473	12.04	29,787.28
GENERAL DYNAMICS CORP	1,125	137.61	154,811.25
GENERAL MILLS INC	3,894	52.48	204,357.12
GENUINE PARTS CO	522	97.01	50,639.22
MCKESSON CORP	1,000	224.89	224,890.00

GENERAL ELECTRIC CO	10,219	25.15	257,007.85
HENRY SCHEIN INC	264	143.17	37,798.20
HEWLETT-PACKARD CO	4,393	38.56	169,394.08
SBA COMMUNICATIONS CORP-CL A	800	121.66	97,332.00
UNUM GROUP	930	34.76	32,326.80
HOME DEPOT INC	2,387	111.89	267,081.43
INTUIT INC	858	90.25	77,434.50
INTEL CORP	7,200	34.36	247,392.00
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	346	116.96	40,468.16
JOHNSON & JOHNSON	2,400	99.62	239,088.00
DEVON ENERGY CORPORATION	1,700	66.47	112,999.00
KEYCORP	3,900	14.11	55,029.00
KIMBERLY-CLARK CORP	1,476	111.00	163,836.00
KOHL'S CORP	448	68.25	30,576.00
ELI LILLY & CO	3,101	70.56	218,806.56
LINCOLN NATIONAL CORP	923	58.44	53,940.12
LINEAR TECHNOLOGY CORP	950	48.38	45,965.75
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	2,077	101.79	211,417.83
LOCKHEED MARTIN CORP	961	196.95	189,268.95
LOEWS CORP	1,301	42.34	55,084.34
DOMINION RESOURCES INC/VA	1,788	72.91	130,363.08
MCDONALD'S CORP	2,428	95.65	232,238.20
EVEREST RE GROUP LTD	111	181.42	20,137.62
MARSH & MCLENNAN COS	1,972	56.31	111,043.32
MATTEL INC	1,498	27.61	41,367.27
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	354	116.90	41,382.60
MICROSOFT CORP	5,826	43.87	255,586.62
MICRON TECHNOLOGY INC	4,143	31.85	131,954.55
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	814	50.71	41,277.94
3M CO	1,552	165.94	257,538.88
MURPHY OIL CORP	663	51.77	34,323.51
XCEL ENERGY INC	1,660	35.00	58,100.00
FORD MOTOR CO	12,634	16.30	205,934.20
NATIONAL OILWELL VARCO INC	600	53.36	32,016.00
NETAPP INC	1,300	38.22	49,686.00
NEWMONT MINING CORP	3,200	24.78	79,296.00
NIKE INC -CL B	2,000	92.04	184,080.00
NOBLE ENERGY INC	1,538	50.79	78,115.02
COACH INC	1,310	39.85	52,203.50
NORTHROP GRUMMAN CORP	903	167.14	150,927.42
WELLS FARGO & CO	5,000	55.33	276,650.00
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	1,624	78.88	128,101.12
ORACLE CORP	5,100	43.93	224,043.00
EXELON CORP	1,275	33.51	42,725.25
PAYCHEX INC	1,230	48.76	59,974.80
PPL CORPORATION	3,400	34.69	117,946.00
PEPSICO INC	2,512	99.13	249,014.56
PFIZER INC	7,737	34.64	268,009.68
CONOCOPHILLIPS	3,221	69.88	225,083.48
PETSMART INC	541	82.70	44,740.70

P G & E CORP	2,400	54.06	129,744.00
ALTRIA GROUP INC	4,800	54.76	262,848.00
AETNA INC	1,110	96.12	106,693.20
PRAXAIR INC	1,206	126.89	153,029.34
COSTCO WHOLESALE CORP	1,600	147.10	235,360.00
PROCTER & GAMBLE CO/THE	2,536	85.90	217,842.40
PROGRESSIVE CORP	1,650	27.11	44,731.50
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	2,600	39.36	102,336.00
QUALCOMM INC	2,300	70.88	163,024.00
RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	201	103.80	20,863.80
US BANCORP	5,400	45.07	243,378.00
ARCH CAPITAL GROUP LTD	447	59.95	26,797.65
ROSS STORES INC	639	96.18	61,459.02
ROPER INDUSTRIES INC	378	166.23	62,834.94
RAYTHEON COMPANY	1,173	107.03	125,546.19
TRAVELERS COS INC/THE	886	108.00	95,688.00
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	1,082	66.52	71,974.64
MERCK & CO.INC.	4,322	58.81	254,176.82
BUNGE LTD	682	82.22	56,074.04
AMERISOURCEBERGEN CORP	952	100.34	95,523.68
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	277	285.00	78,945.00
SIGMA-ALDRICH	281	138.20	38,834.20
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	1,774	80.33	142,505.42
SOUTHERN CO	5,713	45.88	262,112.44
AT&T INC	7,397	34.66	256,380.02
CHEVRON CORP	2,238	112.78	252,401.64
STATE STREET CORP	1,200	76.93	92,316.00
STERICYCLE INC	223	131.07	29,228.61
SYNOPSIS INC	659	44.90	29,589.10
SYSCO CORP	3,900	39.54	154,206.00
TEXAS INSTRUMENTS INC	4,500	57.96	260,842.50
TYSON FOODS INC-CL A	788	40.70	32,071.60
MARATHON OIL CORP	3,188	29.49	94,014.12
UNION PACIFIC CORP	1,900	122.60	232,940.00
UNITED TECHNOLOGIES CORP	2,053	121.25	248,926.25
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,600	109.44	175,104.00
VF CORP	1,316	75.26	99,042.16
WAL-MART STORES INC	3,077	85.81	264,037.37
WASTE MANAGEMENT INC	1,697	51.29	87,039.13
WESTERN DIGITAL CORP	1,001	107.61	107,717.61
WHIRLPOOL CORP	248	213.23	52,881.04
WILLIAMS COS INC	3,200	49.41	158,112.00
WISCONSIN ENERGY CORP	646	50.96	32,920.16
XEROX CORP	4,586	13.77	63,149.22
TJX COMPANIES INC	2,686	69.24	185,978.64
GOOGLE INC-CL A	400	551.16	220,464.00
GAMESTOP CORP-CLASS A	752	37.35	28,087.20
VIACOM INC-CLASS B	1,528	68.98	105,401.44
MASTERCARD INC-CLASS A	2,684	87.14	233,883.76
WESTERN UNION CO	2,326	19.02	44,240.52

	KBR INC	637	18.18	11,580.66
	SPECTRA ENERGY CORP	2,767	36.81	101,853.27
	DELTA AIR LINES INC	993	44.50	44,188.50
	DISCOVER FINANCIAL SERVICES	1,500	59.89	89,835.00
	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	2,700	82.87	223,749.00
	VISA INC-CLASS A SHARES	1,011	269.63	272,595.93
	ACE LTD	872	113.05	98,579.60
	KINDER MORGAN INC	5,813	41.97	243,971.61
	STANLEY BLACK & DECKER INC	555	98.20	54,501.00
	VERISK ANALYTICS INC-CLASS A	871	67.90	59,140.90
	ENSCO PLC-CL A	1,169	30.03	35,105.07
	DOLLAR GENERAL CORP	2,100	68.82	144,522.00
	XL GROUP PLC	978	35.74	34,953.72
	TIME WARNER INC	1,961	83.87	164,469.07
	O'REILLY AUTOMOTIVE INC	640	205.55	131,552.00
	GENERAL MOTORS CO	4,511	37.62	169,703.82
	DELPHI AUTOMOTIVE PLC	731	78.70	57,529.70
	LIBERTY MEDIA CORP	171	37.97	6,492.87
	EXPRESS SCRIPTS HOLDING CO	2,800	84.90	237,720.00
	DUKE ENERGY CORP	2,382	79.84	190,178.88
	DIRECTV	1,967	87.51	172,132.17
	MONDELEZ INTERNATIONAL INC	6,200	36.78	228,036.00
	TWENTY-FIRST CENTURY FOX - B	739	33.66	24,874.74
	ACTAVIS PLC	500	285.37	142,685.00
	NOBLE CORP PLC	1,331	18.54	24,676.74
	PERRIGO CO PLC	800	150.90	120,720.00
	GOOGLE INC-CL C	400	549.01	219,604.00
	NAVIENT CORP	1,791	22.37	40,064.67
	LIBERTY MEDIA CORP - C	1,842	38.07	70,124.94
	CDK GLOBAL INC	541	47.00	25,427.00
	HALYARD HEALTH INC	184	44.50	8,188.00
	LIBERTY BROADBAND-A	92	49.95	4,595.40
	LIBERTY BROADBAND-C	460	49.82	22,917.20
	MEDTRONIC PLC	3,278	75.26	246,702.28
	小計	416,547		25,107,188.18
	(邦貨換算)			(2,977,461,446)
カナダドル	BARRICK GOLD CORP	2,700	15.12	40,824.00
	BANK OF MONTREAL	734	78.69	57,758.46
	BANK OF NOVA SCOTIA	500	67.20	33,600.00
	NATIONAL BANK OF CANADA	600	47.71	28,626.00
	BOMBARDIER INC 'B'	3,400	2.58	8,772.00
	CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE	478	94.90	45,362.20
	CANADIAN NATURAL RESOURCES	1,550	39.40	61,070.00
	CANADIAN UTILITIES LTD A	400	40.79	16,316.00
	CANADIAN NATL RAILWAY CO	794	87.29	69,308.26
	FIRST CAPITAL REALTY INC	1,000	19.97	19,970.00
	AGRIUM INC	300	135.36	40,608.00
	EMPIRE CO LTD 'A'	200	90.89	18,178.00
	FORTIS INC	600	39.32	23,592.00
	ENBRIDGE INC	900	61.52	55,368.00

	MAGNA INTERNATIONAL INC	300	127.51	38,253.00
	METRO INC	900	34.56	31,104.00
	METHANEX CORP	400	66.22	26,488.00
	TRANSCANADA CORP	924	57.23	52,880.52
	POTASH CORP OF SASKATCHEWAN	1,000	46.14	46,140.00
	POWER FINANCIAL CORP	800	37.43	29,944.00
	ENCANA CORP	500	17.56	8,780.00
	SHAW COMMUNICATIONS INC-B	700	29.80	20,860.00
	THOMSON REUTERS CORP	600	48.87	29,322.00
	TORONTO-DOMINION BANK	1,674	55.50	92,907.00
	WESTON (GEORGE) LTD	200	102.45	20,490.00
	INTACT FINANCIAL CORP	400	90.61	36,244.00
	BCE INC	700	55.80	39,060.00
	SUNCOR ENERGY INC	937	39.40	36,917.80
	小計 (邦貨換算)	24,191		1,028,743.24 (98,121,530)
オーストラリア ドル	AUST AND NZ BANKING GROUP	3,226	35.74	115,297.24
	WESTPAC BANKING CORP	3,395	37.53	127,414.35
	TELSTRA CORP LTD	8,023	6.59	52,871.57
	BHP BILLITON LTD	2,945	32.17	94,740.65
	CSL LIMITED	652	86.54	56,424.08
	ORIGIN ENERGY LIMITED	2,071	12.39	25,659.69
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	1,424	93.15	132,645.60
	RIO TINTO LTD	702	63.79	44,780.58
	INSURANCE AUSTRALIA GROUP	4,596	6.26	28,770.96
	SUNCORP GROUP LTD	2,229	14.45	32,209.05
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	2,776	37.48	104,044.48
	AMP LTD	6,214	6.37	39,583.18
	SANTOS LTD	1,938	7.92	15,348.96
	WESFARMERS LIMITED	1,471	44.67	65,709.57
	WOODSIDE PETROLEUM LTD	1,240	35.19	43,635.60
	WOOLWORTHS LIMITED	1,968	32.40	63,763.20
	BRAMBLES LTD	3,032	10.41	31,563.12
	MACQUARIE GROUP LTD	645	68.13	43,943.85
	AGL ENERGY LTD	2,098	14.98	31,428.04
	小計 (邦貨換算)	50,645		1,149,833.77 (106,083,663)
イギリスポンド	SKY PLC	1,553	9.19	14,272.07
	TULLOW OIL PLC	1,018	4.05	4,122.90
	AVIVA PLC	5,319	5.41	28,775.79
	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	1,554	35.92	55,819.68
	IMPERIAL TOBACCO GROUP PLC	1,402	30.25	42,410.50
	SABMILLER PLC	736	34.57	25,447.20
	HSBC HOLDINGS PLC	9,830	5.98	58,803.06
	LEGAL & GENERAL GROUP PLC	15,881	2.70	42,878.70
	ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC	1,002	29.05	29,108.10
	PERSIMMON PLC	1,309	16.58	21,703.22
	PRUDENTIAL PLC	3,370	15.99	53,903.15
	RIO TINTO PLC	1,066	31.51	33,594.99
	SSE PLC	1,759	15.68	27,581.12

	BP PLC	12,482	4.54	56,693.24
	LLOYDS BANKING GROUP PLC	61,340	0.75	46,219.69
	BG GROUP PLC	1,228	9.74	11,970.54
	SMITH & NEPHEW PLC	2,824	11.63	32,843.12
	ASTRAZENECA PLC	1,524	45.51	69,357.24
	BT GROUP PLC	11,754	4.39	51,611.81
	BARCLAYS PLC	13,264	2.56	34,015.52
	NEXT PLC	469	72.25	33,885.25
	ITV PLC	12,156	2.30	28,019.58
	G4S PLC	3,222	2.85	9,208.47
	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	3,482	21.49	74,828.18
	ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	2,106	22.36	47,100.69
	BUNZL PLC	1,608	18.82	30,262.56
	NATIONAL GRID PLC	5,304	8.90	47,216.20
	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	1,095	24.00	26,280.00
	UNILEVER PLC	1,855	27.89	51,735.95
	INVESTEC PLC	1,814	5.70	10,348.87
	SEVERN TRENT PLC	1,308	20.19	26,408.52
	WHITBREAD PLC	681	50.00	34,050.00
	ANGLO AMERICAN PLC	1,338	12.04	16,116.21
	3I GROUP PLC	3,665	4.73	17,339.11
	CAPITA PLC	2,162	11.58	25,035.96
	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	750	56.60	42,450.00
	REED ELSEVIER PLC	2,408	11.60	27,932.80
	SHIRE PLC	1,083	51.30	55,557.90
	UNITED UTILITIES GROUP PLC	3,176	9.54	30,299.04
	GLENCORE PLC	8,887	2.86	25,470.14
	OLD MUTUAL PLC	10,479	2.16	22,634.64
	DIRECT LINE INSURANCE GROUP	8,319	3.17	26,371.23
	WPP PLC	2,484	14.47	35,943.48
	VODAFONE GROUP PLC	20,921	2.32	48,620.40
	COMPASS GROUP PLC	2,765	11.19	30,940.35
	INTERCONTINENTAL HOTELS GROU	985	26.19	25,797.15
	INDIVIOR PLC	1,088	1.66	1,810.43
	小計	255,825		1,592,794.75
	(邦貨換算)			(291,146,952)
スイスフラン	SYNGENTA AG-REG	178	325.30	57,903.40
	SGS SA-REG	8	1,843.00	14,744.00
	SWISSCOM AG-REG	78	533.50	41,613.00
	GIVAUDAN-REG	24	1,778.00	42,672.00
	ZURICH INSURANCE GROUP AG	160	304.80	48,768.00
	NOVARTIS AG-REG	3,593	94.70	340,257.10
	ABB LTD-REG	3,799	19.88	75,524.12
	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	1,082	243.60	263,575.20
	HOLCIM LTD-REG	430	69.55	29,906.50
	NESTLE SA-REG	5,067	70.30	356,210.10
	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	1,374	22.02	30,255.48
	SWATCH GROUP AG/THE-BR	59	428.60	25,287.40
	UBS AG-REG	3,658	15.95	58,345.10
	GEBERIT AG-REG	86	316.00	27,176.00

	SWISS RE AG	398	84.85	33,770.30	
	TRANSOCEAN LTD	430	17.67	7,598.10	
	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	873	82.00	71,586.00	
	小計	21,297		1,525,191.80	
	(邦貨換算)			(194,431,450)	
ホンコンドル	BANK OF EAST ASIA	3,200	31.85	101,920.00	
	CHEUNG KONG INFRASTRUCTURE	3,000	63.00	189,000.00	
	LI & FUNG LTD	18,000	7.32	131,760.00	
	MTR CORP	7,500	35.20	264,000.00	
	HANG SENG BANK LTD	1,900	142.00	269,800.00	
	POWER ASSETS HOLDINGS LIMITED	3,000	77.80	233,400.00	
	HONG KONG & CHINA GAS	12,700	17.30	219,710.00	
	HUTCHISON WHAMPOA LTD	3,000	102.90	308,700.00	
	GALAXY ENTERTAINMENT GROUP L	4,000	43.45	173,800.00	
	BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	10,000	27.30	273,000.00	
	SUN HUNG KAI PROPERTIES	1,000	123.20	123,200.00	
	AIA GROUP LTD	16,600	44.45	737,870.00	
	GLOBAL BRANDS GROUP HOLDING	26,000	1.40	36,400.00	
	小計	109,900		3,062,560.00	
	(邦貨換算)			(46,826,542)	
シンガポールドル	SINGAPORE TECHNOLOGIES ENG	5,000	3.46	17,300.00	
	DBS GROUP HOLDINGS LTD	2,000	19.28	38,560.00	
	SINGAPORE EXCHANGE LTD	3,000	8.14	24,420.00	
	SINGAPORE AIRLINES LTD	1,000	12.15	12,150.00	
	SINGAPORE PRESS HOLDINGS LTD	5,000	4.08	20,400.00	
	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	19,000	4.20	79,800.00	
	SEMBCORP INDUSTRIES LTD	3,000	4.19	12,570.00	
	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	7,000	10.39	72,730.00	
	KEPPEL CORP LTD	3,000	8.73	26,190.00	
	小計	48,000		304,120.00	
	(邦貨換算)			(26,634,829)	
スウェーデン クローナ	SWEDBANK AB - A SHARES	3,173	205.40	651,734.20	
	NORDEA BANK AB	5,559	109.50	608,710.50	
	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	2,480	344.60	854,608.00	
	ASSA ABLOY AB-B	1,345	485.90	653,535.50	
	SVENSKA HANDELSBANKEN-A SHS	1,272	387.60	493,027.20	
	ERICSSON LM-B SHS	6,066	107.00	649,062.00	
	TELIASONERA AB	6,444	52.90	340,887.60	
	ELECTROLUX AB-SER B	654	279.80	182,989.20	
	ATLAS COPCO AB-A SHS	1,390	269.00	373,910.00	
	VOLVO AB-B SHS	3,593	95.10	341,694.30	
	SVENSKA CELLULOSA AB-B SHS	1,759	199.60	351,096.40	
	小計	33,735		5,501,254.90	
	(邦貨換算)			(77,677,719)	
デンマーク クローネ	TDC A/S	5,265	49.10	258,511.50	
	DSV A/S	1,080	205.90	222,372.00	
	NOVOZYMES A/S-B SHARES	1,620	311.30	504,306.00	
	COLOPLAST-B	810	508.00	411,480.00	
	NOVO NORDISK A/S-B	2,970	285.20	847,044.00	
	小計	11,745		2,243,713.50	

	(邦貨換算)			(40,768,274)
ユーロ	BOUYGUES SA	1,620	33.65	54,521.10
	AIRBUS GROUP NV	373	49.75	18,556.75
	L'OREAL	461	156.05	71,939.05
	INTESA SANPAOLO	24,368	2.81	68,669.02
	FRESENIUS SE & CO KGAA	375	47.59	17,846.25
	KBC GROEP NV	88	51.45	4,527.60
	CONTINENTAL AG	444	205.90	91,419.60
	DEUTSCHE POST AG-REG	500	28.95	14,475.00
	RENAULT SA	27	79.35	2,142.45
	MERCK KGAA	729	87.66	63,904.14
	ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	1,434	106.40	152,577.60
	RWE AG	589	23.70	13,959.30
	VIVENDI	3,180	20.71	65,873.70
	SAP SE	2,508	60.69	152,210.52
	E.ON SE	3,718	13.36	49,672.48
	HENKEL AG & CO KGAA	844	90.51	76,390.44
	BAYER AG	1,619	126.45	204,722.55
	HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	944	100.50	94,872.00
	BASF SE	1,530	83.25	127,372.50
	ORANGE	5,812	16.19	94,125.34
	SAMPO OYJ-A SHS	1,223	43.83	53,604.09
	ALLIANZ SE-REG	899	148.60	133,591.40
	MUENCHENER RUECKVER AG-REG	518	182.40	94,483.20
	AKZO NOBEL	932	65.99	61,502.68
	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA	8,480	8.50	72,080.00
	DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	2,178	83.19	181,187.82
	FORTUM OYJ	2,610	19.45	50,764.50
	THYSSENKRUPP AG	2,379	23.00	54,728.89
	CARREFOUR SA	137	28.88	3,957.24
	GAS NATURAL SDG SA	1,967	21.14	41,582.38
	REPSOL SA	2,389	16.93	40,445.77
	SANOFI	1,501	86.73	130,181.73
	BANCO SANTANDER SA	16,888	6.29	106,225.52
	SIEMENS AG-REG	1,451	95.96	139,237.96
	TELEFONICA SA	7,303	13.18	96,253.54
	DEUTSCHE BANK AG-REGISTERED	170	28.35	4,819.50
	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	1,383	107.80	149,087.40
	BAYERISCHE MOTOREN WERKE-PFD	718	80.94	58,114.92
	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	7,049	15.94	112,361.06
	NOKIA OYJ	7,983	7.06	56,359.98
	SOCIETE GENERALE	887	38.40	34,060.80
	AXA SA	2,387	20.84	49,745.08
	GROUPE BRUXELLES LAMBERT SA	675	76.24	51,462.00
	PORSCHE AUTOMOBIL HLDG-PFD	100	80.16	8,016.00
	ENEL SPA	17,588	3.90	68,663.55
	ENI SPA	3,143	15.84	49,785.12
	ING GROEP NV-CVA	5,949	12.35	73,470.15
	ESSILOR INTERNATIONAL	300	96.16	28,848.00
	SNAM SPA	12,872	4.25	54,783.23

CREDIT AGRICOLE SA	1,410	11.96	16,870.65	
BNP PARIBAS	1,061	48.41	51,363.01	
ATLANTIA SPA	2,567	22.51	57,783.17	
HEINEKEN NV	851	65.72	55,927.72	
BELGACOM SA	1,668	34.38	57,345.84	
SAFRAN SA	100	60.46	6,046.00	
KONE OYJ-B	700	40.35	28,245.00	
GDF SUEZ	2,479	18.72	46,406.88	
HEINEKEN HOLDING NV	500	58.96	29,480.00	
UNILEVER NV-CVA	3,198	37.03	118,421.94	
TOTAL SA	2,329	47.37	110,336.37	
NATIXIS	1,555	6.11	9,510.38	
VINCI SA	881	51.71	45,556.51	
CAIXABANK SA	6,904	4.11	28,423.76	
IBERDROLA SA	12,712	5.84	74,314.35	
AMADEUS IT HOLDING SA-A SHS	1,000	35.52	35,520.00	
UNICREDIT SPA	8,347	5.53	46,158.91	
COMMERZBANK AG	2,785	11.56	32,208.52	
ASML HOLDING NV	400	91.34	36,536.00	
小計 (邦貨換算)	214,669		4,385,635.91 (593,288,825)	
合計 (邦貨換算)	1,186,554		(4,452,441,230)	

b. 株式以外の有価証券

（平成27年2月16日現在）

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
USドル	投資証券	ANNALY CAPITAL MANAGEMENT IN	2,304	24,629.76	
		AVALONBAY COMMUNITIES INC	700	119,574.00	
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	169	24,329.24	
		HEALTH CARE REIT INC	2,531	195,190.72	
		SIMON PROPERTY GROUP INC	1,000	193,110.00	
		PUBLIC STORAGE	1,149	232,798.89	
		VENTAS INC	1,500	114,915.00	
		AMERICAN CAPITAL AGENCY CORP	127	2,787.65	
		AMERICAN TOWER CORP	2,918	281,295.20	
		CROWN CASTLE INTL CORP	1,800	158,400.00	
		小計 （邦貨換算）	14,198	1,347,030.46 (159,744,342)	
カナダドル	投資証券	RIOCAN REAL ESTATE INVST TR	700	20,342.00	
		H&R REAL ESTATE INV-REIT UTS	800	19,504.00	
		小計 （邦貨換算）	1,500	39,846.00 (3,800,511)	
オーストラ リアドル	投資証券	SCENTRE GROUP	11,020	42,537.20	
		WESTFIELD CORP	8,844	88,174.68	
		小計 （邦貨換算）	19,864	130,711.88 (12,059,478)	
イギリス ポンド	投資証券	BRITISH LAND CO PLC	2,145	17,835.67	
		INTU PROPERTIES PLC	7,025	26,273.50	
		LAND SECURITIES GROUP PLC	2,257	28,212.50	
		SEGRO PLC	5,345	22,785.73	
		小計 （邦貨換算）	16,772	95,107.40 (17,384,681)	
ホンコン ドル	新株予約権証券	SUN HUNG KA-CW16	166	4,116.80	
		（邦貨換算）		(62,945)	
		合計 （邦貨換算）	52,500	(193,051,957)	

（注）新株予約権証券における券面総額欄の数値は、株数を表示しております。

（注）投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

有価証券明細表注記

通貨	銘柄数	組入 時価比率	合計金額に 対する比率
USドル	株式 198 銘柄	63.44%	64.10%
	投資証券 10 銘柄	3.40%	3.44%
カナダドル	株式 28 銘柄	2.09%	2.11%
	投資証券 2 銘柄	0.08%	0.08%
オーストラリアドル	株式 19 銘柄	2.26%	2.28%
	投資証券 2 銘柄	0.26%	0.26%
イギリスポンド	株式 47 銘柄	6.20%	6.27%
	投資証券 4 銘柄	0.37%	0.37%
スイスフラン	株式 17 銘柄	4.14%	4.19%
ホンコンドル	株式 13 銘柄	1.00%	1.01%
	新株予約権証券 1 銘柄	0.00%	0.00%
シンガポールドル	株式 9 銘柄	0.57%	0.57%
スウェーデンクローナ	株式 11 銘柄	1.66%	1.67%
デンマーククローネ	株式 5 銘柄	0.87%	0.88%
ユーロ	株式 68 銘柄	12.64%	12.77%

(注)「組入時価比率」については、組入時価の純資産総額に対する割合を示すものです。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

外国債券マザーファンド

有価証券明細表

a. 株式

該当事項はありません。

b. 株式以外の有価証券

(平成27年2月16日現在)

通貨	種類	銘柄	額面総額	評価額	クー ポン	償還日	備考	
USドル	国債証券	US TREASURY N/B	1,000,000	1,009,335.93	1.38	H27.11.30		
		US TREASURY N/B	1,200,000	1,250,484.37	4.50	H28.2.15		
		US TREASURY N/B	300,000	325,652.34	7.25	H28.5.15		
		US TREASURY N/B	180,000	183,234.37	1.75	H28.5.31		
		US TREASURY N/B	2,100,000	2,208,691.40	3.13	H29.4.30		
		US TREASURY N/B	900,000	889,171.87	1.13	H31.5.31		
		US TREASURY N/B	300,000	330,515.62	3.63	H32.2.15		
		US TREASURY N/B	1,000,000	1,051,367.17	2.63	H32.11.15		
		US TREASURY N/B	200,000	206,203.12	2.38	H36.8.15		
		US TREASURY N/B	500,000	689,140.62	5.50	H40.8.15		
		US TREASURY N/B	150,000	203,015.62	4.50	H51.8.15		
		US TREASURY N/B	700,000	966,000.00	4.63	H52.2.15		
		US TREASURY N/B	200,000	215,250.00	3.00	H54.5.15		
		小計 (邦貨換算)		8,730,000	9,528,062.43 (1,129,932,923)			
		カナダドル	国債証券	CANADA-GOV'T	200,000	223,784.00	2.75	H34.6.1
CANADA-GOV'T	150,000			231,045.00	8.00	H35.6.1		
CANADA-GOV'T	100,000			172,507.00	8.00	H39.6.1		

		小計 (邦貨換算)	450,000	627,336.00 (59,835,307)		
オーストラリアドル	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. (邦貨換算)	150,000	185,160.00 (17,082,861)	5.75	H34.7.15
イギリス ポンド	国債証券	TREASURY	200,000	281,540.00	8.00	H33.6.7
		TREASURY	350,000	411,985.00	4.00	H34.3.7
		TREASURY	220,000	292,028.00	4.25	H48.3.7
		TREASURY	200,000	286,540.00	4.50	H54.12.7
		小計 (邦貨換算)	970,000	1,272,093.00 (232,525,879)		
シンガポール ドル	国債証券	SINGAPORE GOV'T	180,000	194,418.00	3.25	H32.9.1
		SINGAPORE GOV'T	50,000	56,210.00	3.50	H39.3.1
		小計 (邦貨換算)	230,000	250,628.00 (21,950,000)		
スウェーデン クローナ	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT (邦貨換算)	1,200,000	1,484,280.00 (20,958,033)	3.50	H34.6.1
ノルウェー クローネ	国債証券	NORWEGIAN GOV'T (邦貨換算)	700,000	810,250.00 (12,704,720)	4.50	H31.5.22
メキシコペソ	国債証券	MEXICAN BONOS	3,600,000	4,077,540.00	8.00	H32.6.11
		MEXICAN BONOS	500,000	529,750.00	6.50	H34.6.9
		MEXICAN BONOS	500,000	616,475.00	8.50	H41.5.31
		MEXICAN BONOS	1,000,000	1,170,650.00	7.75	H43.5.29
		小計 (邦貨換算)	5,600,000	6,394,415.00 (50,835,599)		
ランド	国債証券	REP SOUTH AFRICA (邦貨換算)	800,000	787,833.60 (8,028,024)	6.75	H33.3.31
ユーロ	国債証券	DEUTSCHLAND REP	120,000	144,852.00	3.25	H33.7.4
		DEUTSCHLAND REP	100,000	112,235.00	1.75	H34.7.4
		DEUTSCHLAND REP	70,000	107,478.00	6.25	H36.1.4
		DEUTSCHLAND REP	50,000	94,590.00	4.75	H52.7.4
		BTPS	500,000	559,050.00	5.25	H29.8.1
		BTPS	270,000	312,781.50	3.75	H33.3.1
		BTPS	300,000	394,080.00	5.00	H37.3.1
		BTPS	300,000	456,900.00	6.00	H43.5.1
		BTPS	100,000	125,670.00	4.00	H49.2.1
		FRANCE O.A.T.	700,000	790,860.00	4.00	H30.4.25
		FRANCE O.A.T.	200,000	235,670.00	4.25	H31.4.25
		FRANCE O.A.T.	200,000	238,400.00	3.00	H34.4.25
		FRANCE O.A.T.	100,000	165,300.00	8.50	H35.4.25
		FRANCE O.A.T.	400,000	646,220.00	5.50	H41.4.25
		FRANCE O.A.T.	230,000	380,040.50	4.75	H47.4.25
		NETHERLANDS GOVT	200,000	235,450.00	4.00	H31.7.15
		NETHERLANDS GOVT	150,000	190,612.50	3.75	H35.1.15
		NETHERLANDS GOVT	400,000	446,600.00	1.75	H35.7.15
		NETHERLANDS GOVT	100,000	160,700.00	5.50	H40.1.15
		SPANISH GOV'T	500,000	560,200.00	4.10	H30.7.30
		SPANISH GOV'T	200,000	260,610.00	5.40	H35.1.31
		SPANISH GOV'T	100,000	144,405.00	4.90	H52.7.30
		BELGIAN 0315	250,000	291,262.50	4.00	H31.3.28
BELGIAN 0325	150,000	194,340.00	4.25	H34.9.28		

	BELGIAN 0324	150,000	210,885.00	4.50	H38.3.28	
	BELGIAN 0326	200,000	293,720.00	4.00	H44.3.28	
	IRISH GOVT	100,000	120,554.00	4.50	H32.4.18	
	小計 (邦貨換算)	6,140,000	7,873,466.00 (1,065,122,480)			
	合計 (邦貨換算)		(2,618,975,826)			

有価証券明細表注記

通貨	銘柄数	組入 時価比率	合計金額に 対する比率
USドル	国債証券 13 銘柄	42.30%	43.14%
カナダドル	国債証券 3 銘柄	2.24%	2.28%
オーストラリアドル	国債証券 1 銘柄	0.64%	0.65%
イギリスポンド	国債証券 4 銘柄	8.71%	8.88%
シンガポールドル	国債証券 2 銘柄	0.82%	0.84%
スウェーデンクローナ	国債証券 1 銘柄	0.78%	0.80%
ノルウェークローネ	国債証券 1 銘柄	0.48%	0.49%
メキシコペソ	国債証券 4 銘柄	1.90%	1.94%
ランド	国債証券 1 銘柄	0.30%	0.31%
ユーロ	国債証券 27 銘柄	39.88%	40.67%

(注) 「組入時価比率」については、組入時価の純資産総額に対する割合を示すものです。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

平成27年2月27日現在

青のライフキャンバス・ファンド（標準型）

資産総額	1,297,684,151	円
負債総額	1,215,113	円
純資産総額（ - ）	1,296,469,038	円
発行済数量	1,274,197,372	口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.0175	円

赤のライフキャンバス・ファンド（積極型）

資産総額	1,276,970,429	円
負債総額	616,623	円
純資産総額（ - ）	1,276,353,806	円
発行済数量	1,249,552,650	口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.0214	円

（参考）国内株式マザーファンド

資産総額	9,716,776,553	円
負債総額	164,091,590	円
純資産総額（ - ）	9,552,684,963	円
発行済数量	11,177,104,276	口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.8547	円

（参考）国内債券マザーファンド

資産総額	11,168,405,394	円
負債総額	629,991,390	円
純資産総額（ - ）	10,538,414,004	円
発行済数量	7,816,910,632	口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.3482	円

（参考）外国株式マザーファンド

資産総額	4,783,855,529	円
負債総額	-	円
純資産総額（ - ）	4,783,855,529	円
発行済数量	2,688,951,060	口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.7791	円

（参考）外国債券マザーファンド

資産総額	2,713,545,636	円
負債総額	-	円

純資産総額(-)	2,713,545,636 円
発行済数量	986,987,292 口
1 単位当たり純資産額(/)	2.7493 円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

1. 名義書換についての手続、取扱場所等
ありません。

2. 受益者に対する特典
ありません。

3. 受益権の譲渡

譲渡制限はありません。ただし、受益権の譲渡の手続および受益権の譲渡の対抗要件は以下によるものとします。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

委託会社は、上記 に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

4. 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できます。

5. 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払、換金申込の受付、換金代金および償還金の支払等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額

平成27年2月末日現在の資本金の額	11億円
会社が発行する株式の総数	2,294,100株
発行済株式総数	1,082,500株

（2）会社の機構

経営体制

16名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は株主総会において、総株主の議決権の3分の1以上に当たる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとし、補欠により選任された取締役の任期は、前任者の残任期間とします。

取締役会はその決議をもって、取締役中より取締役会長、取締役社長各1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役若干名を選定することができます。また取締役中より代表取締役を選定します。

取締役会は、取締役社長が招集します。取締役社長に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により、他の取締役がこれを招集します。取締役会の招集通知は会日の2日前までにこれを発します。ただし、緊急の場合は、この期間を短縮することができます。また取締役および監査役全員の同意がある場合は、これを省略することができます。

取締役会は、法令または定款に定める事項の他、業務執行に関する重要事項を決定します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

投資信託運用の意思決定と運用の流れ

a. 基本運用方針、月次運用計画の決定

投資政策委員会（原則月1回開催）において投資信託の基本運用方針に関する事項が審議・決定され、各運用部長において月次運用計画に関する事項が審議・決定されます。

b. 運用の実行

月次運用計画に沿って、ファンド・マネージャーからトレーディング部に売買発注指示があり、売買が執行されます。

c. 運用のチェック等

- ・業務管理部において、運用上の諸リスクの管理および運用実績の評価等を行い、運用審査委員会にて報告・審議が行われます。
- ・法務・コンプライアンス部において、日次で有価証券等の取引内容のチェック・運用制限遵守のチェック等が実施され、コンプライアンス委員会および取締役会に報告を行っています。

会社の機構は平成27年2月末日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

委託会社の運用する証券投資信託は平成27年2月末日現在、187本であり、その純資産総額の合計は758,936百万円です（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額
追加型株式投資信託	159本	659,701百万円
単位型株式投資信託	17本	62,877百万円
追加型公社債投資信託	1本	16,921百万円
単位型公社債投資信託	10本	19,437百万円
合計	187本	758,936百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。
また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条及び57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 番号	第33期 (平成25年3月31日現在)		第34期 (平成26年3月31日現在)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)					
流動資産					
1. 預金			4,352,656		5,057,972
2. 有価証券			2,000,000		2,000,000
3. 前払費用			57,091		68,916
4. 未収入金			77,226		-
5. 未収委託者報酬			676,084		578,201
6. 未収運用受託報酬			412,970		400,065
7. 繰延税金資産			116,960		96,193
8. その他			601		5,698
流動資産計			7,693,591		8,207,047
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	1	50,187		43,178	
(2) 器具備品	1	23,315		24,230	
(3) その他		897		897	
2. 無形固定資産					
(1) 電話加入権		2,862		2,862	
(2) ソフトウェア		65,893		45,793	
(3) ソフトウェア仮勘定		433		1,601	
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		198,667	533,591	187,596	483,292
(2) 関係会社株式		7,086		5,386	
(3) 長期差入保証金		142,445		141,107	
(4) 繰延税金資産		184,712		148,738	
(5) その他		679		463	
固定資産計			677,181		601,855
資産合計			8,370,773		8,808,902

区分	注記 番号	第33期 (平成25年3月31日現在)		第34期 (平成26年3月31日現在)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)					
流動負債					
1. 預り金			80,752		60,329
2. 未払金			273,758		415,875
(1) 未払収益分配金		291		665	
(2) 未払償還金		5,658		5,658	
(3) 未払手数料		221,974		197,992	
(4) その他未払金		45,834		211,559	
3. 未払費用			368,212		354,021
4. 未払法人税等			6,858		18,326
5. 未払消費税等			24,035		23,294
6. 賞与引当金			206,147		203,351
7. 役員賞与引当金			26,000		26,000
流動負債計			985,764		1,101,200
固定負債					
1. 退職給付引当金			362,699		374,966
2. 役員退職慰労引当金			15,463		20,830
固定負債計			378,163		395,797
負債合計			1,363,928		1,496,997
(純資産の部)					
株主資本					
1. 資本金			1,100,000		1,100,000
2. 資本剰余金			277,667		277,667
(1) 資本準備金		277,667		277,667	
3. 利益剰余金			5,628,577		5,936,462
(1) 利益準備金		175,000		175,000	
(2) その他利益剰余金					
別途積立金		3,137,790		3,137,790	
繰越利益剰余金		2,315,787		2,623,672	
株主資本計			7,006,245		7,314,130
評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金			599		2,225
評価・換算差額等計			599		2,225
純資産合計			7,006,844		7,311,904
負債純資産合計			8,370,773		8,808,902

（ 2 ） 【 損益計算書 】

区分	注記 番号	第33期 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)		第34期 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業収益					
1. 委託者報酬			4,391,282		4,889,793
2. 運用受託報酬			1,640,368		1,810,078
3. その他営業収益			-		7,865
営業収益計			6,031,651		6,707,737
営業費用					
1. 支払手数料			1,941,607		2,234,424
2. 広告宣伝費			7,158		26,770
3. 調査費			1,312,244		1,461,086
(1) 調査費		20,689		25,526	
(2) 委託調査費		916,186		1,072,157	
(3) 情報機器関連費		373,546		361,948	
(4) 図書費		1,822		1,453	
4. 委託計算費			164,954		170,888
5. 営業雑経費			137,250		155,892
(1) 通信費		9,999		8,354	
(2) 印刷費		92,168		101,645	
(3) 協会費		10,379		9,917	
(4) 諸会費		2,770		3,284	
(5) 紹介手数料		21,931		32,689	
営業費用計			3,563,215		4,049,062
一般管理費					
1. 給料			1,283,296		1,200,292
(1) 役員報酬		72,306		66,804	
(2) 給料・手当		1,160,622		1,084,917	
(3) 賞与		50,367		48,571	
2. 法定福利費			175,566		166,706
3. 退職金			15,559		4,438
4. 福利厚生費			2,650		2,842
5. 交際費			2,809		3,395
6. 旅費交通費			27,294		20,598
7. 事務委託費			73,323		96,003
8. 租税公課			15,824		18,879
9. 不動産賃借料			159,588		159,588
10. 退職給付費用			60,300		59,465
11. 役員退職慰労引当金繰入			5,262		5,366
12. 賞与引当金繰入			206,147		203,351
13. 役員賞与引当金繰入			26,000		26,000
14. 固定資産減価償却費			56,688		49,718
15. 諸経費			95,739		103,673
一般管理費計			2,206,052		2,120,323
営業利益			262,383		538,351

区分	注記 番号	第33期 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)		第34期 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日)	
		内訳 (千円)	金額 (千円)	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業外収益					
1. 受取配当金	1		86,193		2,187
2. 有価証券利息			601		1,465
3. 受取利息			879		635
4. 時効成立分配金・償還金			249		-
5. その他			899		11
営業外収益計			88,824		4,299
営業外費用					
1. 為替差損			82,502		1,301
2. 雑損失			223		127
営業外費用計			82,725		1,429
経常利益			268,481		541,222
特別利益					
1. 固定資産売却益	2		134		158
2. 投資有価証券売却益			5,943		1,552
特別利益計			6,077		1,710
特別損失					
1. 固定資産除却損	3		2,540		131
2. 投資有価証券売却損			1,090		978
3. 子会社株式評価損			210		-
特別損失計			3,841		1,110
税引前当期純利益			270,718		541,822
法人税、住民税及び事業税			77,758		175,594
法人税等調整額			156,526		58,341
当期純利益			191,950		307,885

（ 3 ） 【株主資本等変動計算書】

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		利益準備金	その他利益剰余金		
					別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,123,836	5,436,626	6,814,294
当期変動額								
剰余金の配当								
当期純利益						191,950	191,950	191,950
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	191,950	191,950	191,950
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,315,787	5,628,577	7,006,245

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	990	990	6,815,285
当期変動額			
剰余金の配当			-
当期純利益			191,950
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	391	391	391
当期変動額合計	391	391	191,559
当期末残高	599	599	7,006,844

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
				別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,315,787	5,628,577	7,006,245
当期変動額								
剰余金の配当								
当期純利益						307,885	307,885	307,885
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	307,885	307,885	307,885
当期末残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,623,672	5,936,462	7,314,130

	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	599	599	7,006,844
当期変動額			
剰余金の配当			-
当期純利益			307,885
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,825	2,825	2,825
当期変動額合計	2,825	2,825	305,059
当期末残高	2,225	2,225	7,311,904

重要な会計方針

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8～18年

器具備品 3～15年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により、期末要支給額を計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4．その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

第33期 (平成25年3月31日現在)	第34期 (平成26年3月31日現在)
1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 84,264千円 器具備品 197,601千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 91,273千円 器具備品 147,915千円

（損益計算書関係）

第33期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	第34期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
1 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。 関係会社からの受取配当金 84,552千円	1 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。 関係会社からの受取配当金 263千円
2 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。 器具備品 134千円	2 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。 器具備品 158千円
3 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 2,540千円	3 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 131千円

（株主資本等変動計算書関係）

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082
合計	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数（千株）	当事業年度増加 株式数（千株）	当事業年度減少 株式数（千株）	当事業年度末 株式数（千株）
普通株式	1,082	-	-	1,082
合計	1,082	-	-	1,082

2．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社では、資金運用については原則として預金等の資産を中心に投資する方針であり、有価証券の取得を行う場合には、投機的な取引は行いません。

また、資金調達については、主に金融機関からの借入による方針です。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は顧客の信用リスクに晒されておりますが、主に信託銀行により分別管理が行われている信託財産から支弁されており、当該リスクの影響は軽微であります。

有価証券は、短期の譲渡性預金であり、市場価格等の変動リスクは軽微であります。

投資有価証券及び関係会社株式は、主に非上場株式、子会社株式及び投資信託であります。非上場株式及び子会社株式は業務上の関係維持を目的として保有しており、定期的に発行体の財務状況等の把握を行っております。投資信託は投資手法の開発等を目的に当社が設定する投資信託を取得しているものです。

長期差入保証金については、主に本社ビルの賃貸借契約に係る同居覚書に基づき、親会社へ差入れたものです。

未払金、未払費用は、ほとんどが1年以内の支払期日です。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は、「リスク管理基本方針」にて各種リスクの基本的考え方を定めており、「財務リスク管理規程」によって、財務リスク（資金繰りリスク、信用リスク）の管理方法を定めています。財務リスクの状況は、月次で開催されるリスク管理委員会にてモニタリングが行われます。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと。）。

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	4,352,656	4,352,656	-
(2) 有価証券			
その他有価証券	2,000,000	2,000,000	-
(3) 未収委託者報酬	676,084	676,084	-
(4) 未収運用受託報酬	412,970	412,970	-
(5) 投資有価証券			
その他有価証券	136,467	136,467	-
資産計	7,578,179	7,578,179	-
(1) 未払金			
未払収益分配金	(291)	(291)	-
未払償還金	(5,658)	(5,658)	-
未払手数料	(221,974)	(221,974)	-
その他未払金	(45,834)	(45,834)	-
(2) 未払費用	(368,212)	(368,212)	-
負債計	(641,970)	(641,970)	-

(*) 負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金

時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収委託者報酬及び未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券(譲渡性預金)及び投資有価証券(投資信託)

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。また、投資信託は公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金及び未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	62,200
子会社株式	7,086
長期差入保証金	142,445
合計	211,732

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	4,352,656	-	-
有価証券			
その他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	2,000,000	-	-
未収委託者報酬	676,084	-	-
未収運用受託報酬	412,970	-	-
投資有価証券			
その他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	1,881	94,790	19,777
合計	7,443,593	94,790	19,777

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	5,057,972	5,057,972	-
(2) 有価証券			
その他有価証券	2,000,000	2,000,000	-
(3) 未収委託者報酬	578,201	578,201	-
(4) 未収運用受託報酬	400,065	400,065	-
(5) 投資有価証券			
その他有価証券	125,396	125,396	-
資産計	8,161,636	8,161,636	-
(1) 未払金			
未払収益分配金	(665)	(665)	-
未払償還金	(5,658)	(5,658)	-
未払手数料	(197,992)	(197,992)	-
その他未払金	(211,559)	(211,559)	-
(2) 未払費用	(354,021)	(354,021)	-
負債計	(769,897)	(769,897)	-

(*) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1) 預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収委託者報酬及び未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券(譲渡性預金)及び投資有価証券(投資信託)

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。また、投資信託は公表されている基準価額によっております。

負債

(1) 未払金及び未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	62,200
子会社株式	5,386
長期差入保証金	141,107
合計	208,693

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超
預金	5,057,972	-	-
有価証券			
其他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	2,000,000	-	-
未収委託者報酬	578,201	-	-
未収運用受託報酬	400,065	-	-
投資有価証券			
其他有価証券のうち 満期があるもの(その他)	6,220	80,252	38,923
合計	8,042,460	80,252	38,923

（有価証券関係）

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

その他有価証券の当事業年度中の売却額は126,963千円であり、売却益の合計額は5,943千円、売却損の合計額は1,090千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの取得原価、貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	(1) その他の証券	65,146	75,683	10,536
	小計	65,146	75,683	10,536
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	(1) その他の証券	2,070,354	2,060,784	9,569
	小計	2,070,354	2,060,784	9,569
合計		2,135,500	2,136,467	967

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

その他有価証券の当事業年度中の売却額は59,878千円であり、売却益の合計額は1,552千円、売却損の合計額は978千円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの取得原価、貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類(*)	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	(1) その他の証券	56,700	68,005	11,305
	小計	56,700	68,005	11,305
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	(1) その他の証券	2,072,154	2,057,390	14,764
	小計	2,072,154	2,057,390	14,764
合計		2,128,854	2,125,396	3,458

(*) 当事業年度中において、保有目的が変更となった有価証券はありません。

（退職給付関係）

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しております。なお、従業員の一部について平成16年7月より確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を開始しました。

2. 退職給付債務に関する事項

(1) 退職給付債務 362,699千円

(2) 退職給付引当金 362,699千円

(注) 当社は、対象人員が300名未満と少なく年齢や勤続期間にも偏りがあり、数理計算結果に一定の高い水準の信頼性を得ることが困難であると判断して、簡便法（期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）により退職給付債務を算定しております。

3. 退職給付費用に関する事項

退職給付費用

勤務費用	55,676千円
確定拠出年金への掛金支払額	<u>4,623千円</u>
退職給付費用	60,300千円

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

当社は簡便法を採用しておりますので、基礎率等について記載しておりません。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しております。なお、従業員の一部について平成16年7月より確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を開始しました。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	362,699千円
退職給付費用	51,813千円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>39,547千円</u>
退職給付引当金の期末残高	374,966千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

<u>退職一時金制度の退職給付債務</u>	<u>374,966千円</u>
<u>貸借対照表に計上された負債と資産の純額</u>	<u>374,966千円</u>

<u>退職給付引当金</u>	<u>374,966千円</u>
<u>貸借対照表に計上された負債と資産の純額</u>	<u>374,966千円</u>

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	51,813千円
----------------	----------

3. 確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額	7,652千円
--------------	---------

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第33期（平成25年3月31日現在）	第34期（平成26年3月31日現在）
	（単位：千円）	（単位：千円）
（繰延税金資産）		
賞与引当金	78,356	72,474
未払事業税	1,754	5,734
未払社会保険料	11,094	10,404
貯蔵品	1,598	1,508
退職給付引当金	135,561	141,062
子会社株式評価損	1,451	1,451
連結納税加入に伴う有価証券 時価評価益	23,788	23,363
減価償却超過額否認	5,096	4,418
繰越欠損金	62,041	2,468
その他有価証券評価差額金	-	1,232
その他	9,331	9,322
小計	330,075	273,443
評価性引当額	28,034	28,511
繰延税金資産計	302,040	244,931
（繰延税金負債）		
その他有価証券評価差額金	367	-
繰延税金負債計	367	-
繰延税金資産の純額	301,673	244,931

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	第33期（平成25年3月31日現在）	第34期（平成26年3月31日現在）	
法定実効税率	38.0 %	法定実効税率	38.0 %
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	5.0 %	交際費等永久に損金に算入されない項目	2.1 %
受取配当金等永久に益金に算入されない 項目	11.3 %	受取配当金等永久に益金に算入されない 項目	0.0 %
住民税均等割	0.8 %	住民税均等割	0.4 %
評価性引当額	0.2 %	評価性引当額	0.1 %
税率変更による期末繰延税金資産の減額 修正	-	税率変更による期末繰延税金資産の減額 修正	1.2 %
その他	3.7 %	その他	1.4 %
税効果会計適用後の法人税率の負担率	29.1 %	税効果会計適用後の法人税率の負担率	43.2 %

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

平成26年3月31日付で、「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が公布され、平成26年4月1日以降に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれるものについては従来の38.0%から35.6%になります。この変更により、当事業年度末の繰延税金資産の純額は6百万円減少し、法人税等調整額が6百万円増加しております。

（資産除去債務関係）

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

記載すべき重要な事項はありません。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(関連当事者との取引)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

第33期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	(株)T&Dホールディングス	東京都港区	207,111	持株会社	(被所有) 直接 100	経営管理 役員の兼任	賃借契約に係る敷金の差入 (*1)	-	長期差入保証金	142,395

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)長期差入保証金については、床面積を基準に決定しております。

第34期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	(株)T&Dホールディングス	東京都港区	207,111	持株会社	(被所有) 直接 100	経営管理 役員の兼任	賃借契約に係る敷金の差入 (*1)	-	長期差入保証金	141,057
							連結納税に伴う支払予定額	163,840	未払金	163,840

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1)長期差入保証金については、床面積を基準に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社T & Dホールディングス（東京証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

第33期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		第34期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,472.83円	1株当たり純資産額	6,754.64円
1株当たり当期純利益金額	177.32円	1株当たり当期純利益金額	284.42円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎		1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
当期純利益（千円）	191,950	当期純利益（千円）	307,885
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	普通株主に帰属しない金額（千円）	-
普通株式に係る当期純利益（千円）	191,950	普通株式に係る当期純利益（千円）	307,885
期中平均株式数（千株）	1,082	期中平均株式数（千株）	1,082

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第35期中間会計期間末 (平成26年9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)			
流動資産			
1. 預金			4,926,368
2. 有価証券			2,000,000
3. 前払費用			78,640
4. 未収委託者報酬			589,935
5. 未収運用受託報酬			449,433
6. 繰延税金資産			37,986
7. その他			9,384
流動資産計			8,091,748
固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 建物	1	40,163	68,885
(2) 器具備品	1	27,825	
(3) その他		897	
2. 無形固定資産			
(1) 電話加入権		2,862	50,029
(2) ソフトウェア		41,934	
(3) ソフトウェア仮勘定		5,231	
3. 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券		83,259	383,176
(2) 関係会社株式		5,386	
(3) 長期差入保証金		140,438	
(4) 繰延税金資産		148,882	
(5) その他		5,210	
固定資産計			502,091
資産合計			8,593,839

		第35期中間会計期間末 (平成26年9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)			
流動負債			
1. 預り金			45,504
2. 未払金			268,791
(1) 未払収益分配金		665	
(2) 未払償還金		5,658	
(3) 未払手数料		219,072	
(4) その他未払金		43,395	
3. 未払費用			351,431
4. 未払法人税等			5,926
5. 未払消費税等	2		37,998
6. 前受収益			2,125
7. 賞与引当金			65,582
8. 役員賞与引当金			13,000
流動負債計			790,359
固定負債			
1. 退職給付引当金			381,341
2. 役員退職慰労引当金			23,514
固定負債計			404,855
負債合計			1,195,215
(純資産の部)			
株主資本			
1. 資本金			1,100,000
2. 資本剰余金			277,667
(1) 資本準備金		277,667	
3. 利益剰余金			6,021,747
(1) 利益準備金		175,000	
(2) その他利益剰余金			
別途積立金		3,137,790	
繰越利益剰余金		2,708,957	
株主資本計			7,399,415
評価・換算差額等			
1. その他有価証券評価差額金			790
評価・換算差額等計			790
純資産合計			7,398,624
負債純資産合計			8,593,839

(2) 中間損益計算書

		第35期中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業収益			
1. 委託者報酬			2,229,364
2. 運用受託報酬			895,798
営業収益計			3,125,162
営業費用			
1. 支払手数料			1,097,762
2. 広告宣伝費			2,404
3. 調査費			717,949
(1) 調査費		21,389	
(2) 委託調査費		511,747	
(3) 情報機器関連費		184,157	
(4) 図書費		654	
4. 委託計算費			82,100
5. 営業雑経費			83,017
(1) 通信費		4,223	
(2) 印刷費		54,419	
(3) 協会費		4,489	
(4) 諸会費		1,802	
(5) 紹介手数料		18,082	
営業費用計			1,983,235
一般管理費			
1. 給料			590,609
(1) 役員報酬		33,402	
(2) 給料・手当		549,634	
(3) 賞与		7,572	
2. 法定福利費			74,340
3. 退職金			1,958
4. 福利厚生費			1,718
5. 交際費			2,574
6. 旅費交通費			12,261
7. 事務委託費			45,697
8. 租税公課			7,841
9. 不動産賃借料			79,794
10. 退職給付費用			29,459
11. 役員退職慰労引当金繰入			2,683
12. 賞与引当金繰入			65,582
13. 役員賞与引当金繰入			13,000
14. 固定資産減価償却費	1		20,438
15. 諸経費			50,327
一般管理費計			998,286
営業利益			143,640

		第35期中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)	
区分	注記 番号	内訳 (千円)	金額 (千円)
営業外収益			
1. 受取配当金			1,566
2. 有価証券利息			701
3. 受取利息			338
4. その他			5
営業外収益計			2,612
営業外費用			
1. 為替差損			453
2. 雑損失			1,548
営業外費用計			2,001
経常利益			144,251
特別利益			
1. 固定資産売却益			122
2. 投資有価証券売却益			13,529
特別利益計			13,651
特別損失			
1. 投資有価証券売却損			15,323
特別損失計			15,323
税引前中間純利益			142,579
法人税、住民税及び事業税			26
法人税等調整額			57,268
中間純利益			85,284

(3) 中間株主資本等変動計算書

第35期中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							株主資本 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,623,672	5,936,462	7,314,130
当中間会計期間 変動額								
剰余金の配当								
中間純利益						85,284	85,284	85,284
株主資本以外の 項目の当中間会 計期間変動額 (純額)								
当中間会計期間 変動額合計	-	-	-	-	-	85,284	85,284	85,284
当中間会計期間末 残高	1,100,000	277,667	277,667	175,000	3,137,790	2,708,957	6,021,747	7,399,415

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2,225	2,225	7,311,904
当中間会計期間 変動額			
剰余金の配当			-
中間純利益			85,284
株主資本以外の 項目の当中間会 計期間変動額 (純額)	1,435	1,435	1,435
当中間会計期間 変動額合計	1,435	1,435	86,719
当中間会計期間末 残高	790	790	7,398,624

重要な会計方針

	第35期中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)				
1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式 移動平均法による原価法を採用しております。</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。</p>				
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>建物</td> <td>8～18年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>3～15年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。</p>	建物	8～18年	器具備品	3～15年
建物	8～18年				
器具備品	3～15年				
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間にかかる額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、簡便法(期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により、当中間会計期間末における必要額を計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。</p>				
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。</p> <p>(2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。</p>				

注記事項

（中間貸借対照表関係）

第35期中間会計期間末 (平成26年9月30日現在)	
1	有形固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。
	建物 94,288千円
	器具備品 153,234千円
2	消費税等の取扱い
	仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

第35期中間会計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
1	固定資産の減価償却実施額は次の通りであります。
	有形固定資産 8,333千円
	無形固定資産 12,105千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第35期中間会計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当期首株式数 (千株)	当中間会計期間増加 株式数(千株)	当中間会計期間減少 株式数(千株)	当中間会計期間末 株式数(千株)
普通株式	1,082	-	-	1,082
合計	1,082	-	-	1,082

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

金融商品の時価等に関する事項

平成26年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと。）。

（単位：千円）

	中間貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1) 預金	4,926,368	4,926,368	-
(2) 有価証券			
その他有価証券	2,000,000	2,000,000	-
(3) 未収委託者報酬	589,935	589,935	-
(4) 未収運用受託報酬	449,433	449,433	-
(5) 投資有価証券			
その他有価証券	21,059	21,059	-
資産計	7,986,797	7,986,797	-
(1) 未払金			
未払収益分配金	(665)	(665)	-
未払償還金	(5,658)	(5,658)	-
未払手数料	(219,072)	(219,072)	-
その他未払金	(43,395)	(43,395)	-
(2) 未払費用	(351,431)	(351,431)	-
負債計	(620,222)	(620,222)	-

(*) 負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収委託者報酬及び未収運用受託報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券（譲渡性預金）及び投資有価証券（投資信託）

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。また、投資信託は公表されている基準価額によっております。

負 債

(1) 未払金及び未払費用

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	62,200
子会社株式	5,386
長期差入保証金	140,438
合計	208,024

これらについては、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。

（有価証券関係）

第35期中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

その他有価証券において、種類ごとの取得原価、中間貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	種類	取得原価	中間貸借対照表計上額	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	(1) その他の証券	2,300	2,367	67
	小計	2,300	2,367	67
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	(1) その他の証券	2,019,988	2,018,691	1,296
	小計	2,019,988	2,018,691	1,296
合計		2,022,288	2,021,059	1,228

（資産除去債務関係）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報等）

第35期中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益各項目の区分と同一であることから、製品及びサービスごとの営業収益の記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(1 株当たり情報)

第35期中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)	
1株当たり純資産額	6,834円75銭
1株当たり中間純利益金額	78円78銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎	
中間純利益(千円)	85,284
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益(千円)	85,284
期中平均株式数(千株)	1,082

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、ファンドの運用指図を行うに当たり、利害関係人との取引について、次の行為が禁止されています。

1. 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
2. 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
3. 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下4、5において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。
4. 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
5. 上記3、4に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

定款の変更等

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の特別決議が必要です。

訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

- ・ 資本金の額 324,279百万円（平成26年9月末日現在）
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

< 信託事務の一部委託先 >

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

- ・ 資本金の額 10,000百万円（平成26年9月末日現在）
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (単位：百万円) (平成26年9月末日現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	47,937	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
野村證券株式会社	10,000	
PWM日本証券株式会社	3,000	
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,711,958	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

2【関係業務の概要】

「受託会社」は主に以下の業務を行います。

- a. 信託財産の保管・管理・計算
- b. 委託会社の指図に基づく信託財産の処分等

「販売会社」は主に以下の業務を行います。

- a. 受益権の募集・販売の取扱い
- b. 受益権の換金（解約）申込の取扱い
- c. 換金代金、収益分配金および償還金の支払の取扱い
- d. 目論見書、運用報告書の交付等

3【資本関係】

（持株比率5.0%以上を記載します。）

平成27年2月末日現在、該当事項はありません。

第3【その他】

1. 目論見書は別称として「投資信託説明書」と称して使用することがあります。
2. 目論見書の表紙にロゴ・マーク、図案を使用することがあります。
3. 目論見書の表紙等に、以下の事項を記載することがあります。
 - ・金融商品取引法上の目論見書である旨
 - ・目論見書の使用を開始する日
 - ・信託財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - ・委託会社の金融商品取引業者登録番号
4. 詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - ・委託会社のホームページアドレス、電話番号および受付時間
 - ・請求目論見書の入手方法および信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
 - ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
5. 届出の効力に関する事項について、以下のいずれかの内容を記載することがあります。
 - ・届出をした日、届出が効力を生じている旨および効力発生日
 - ・届出をした日および当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
6. 届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表等を付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
7. 請求目論見書の巻末に、ファンドの信託約款の全文を掲載することがあります。
8. 目論見書は電子媒体、インターネット等に掲載することがあります。

独立監査人の監査報告書

平成26年6月3日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小澤 裕治
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	蒲谷 剛史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているT & Dアセットマネジメント株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第34期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、T & Dアセットマネジメント株式会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成27年4月14日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小澤 裕治
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	蒲谷 剛史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の平成26年2月18日から平成27年2月16日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、青のライフキャンパス・ファンド（標準型）の平成27年2月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R Lデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成27年4月14日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小澤 裕治
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	蒲谷 剛史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の平成26年2月18日から平成27年2月16日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、赤のライフキャンパス・ファンド（積極型）の平成27年2月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

T & Dアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. X B R Lデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成26年11月28日

T & Dアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小澤 裕治
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	蒲谷 剛史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているT & Dアセットマネジメント株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第35期事業年度の中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、T & Dアセットマネジメント株式会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは中間監査の対象には含まれていません。